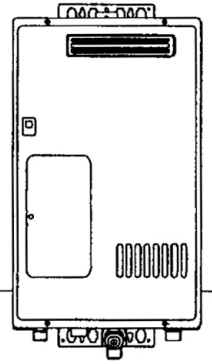
屋外設置形

ガス給湯器

３３－３６２型

TP－WQ３２５GR



取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み十分に理解したうえで、正しくお使いください。別添の保証書とともに、この「取扱説明書」をいつでもご覧になれるところへ大切に保管してください。
なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先
別添　大阪ガスのお問い合わせ先をご参照願います。

お願い　ガスくさいときは、ガス栓を閉じ窓を全開にして、（火気に注意して）大阪ガスに連絡してください。

JG3012

安全に正しくお使いいただくために

表示について

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを示しています。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を示しています。

一般的な禁止　火気厳禁　接触禁止　分解禁止

必ず行う　電源プラグを抜け　アースを接続せよ

ご注意 ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

一口メモ 知っておいて欲しい内容を示しています。

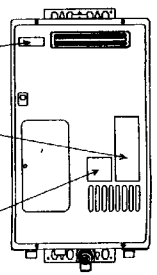
（○○ページ） 文章中の（　）内のページは参照ページを示しています。

機器本体の表示について

やけど注意
排気口や周囲が高温になるためやけど注意を表示しています。

使用上の注意
使用上の注意について表示しています。

定格銘板
型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。



ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス給湯器をお買い上げいただき、ありがとうございました。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型式名・製造年月をお知らせください。

機能と特長

■お使いになる湯温や湯量に応じてガス量を自動調節します。

■冬期、気温が下がると自動的に作動し、凍結を予防するヒーターが組み込まれています。

■別売品のメインリモコン・防湿型サブリモコン・サブリモコンを取り付けているお宅では、給湯温度を標準：３７～７５℃または高温対応：３７～８０℃のいずれかに設定ができます。（給湯温度は１６段階の調節ができます。）
（１４、２０ページ参照）

もくじ

・安全に正しくお使いいただくために ―― 1
・必ずお守りください ―― 3

使いかた
・各部の名前と参照ページ ―― 8
　機器本体 ―― 8
　メインリモコン（別売品） ―― 9
　防湿型サブリモコン（別売品） ―― 10
　サブリモコン（別売品） ―― 10
・はじめて使うとき ―― 11
　現在時刻の合わせかた ―― 11
・リモコンなしで使う ―― 12
・メインリモコンで使う（別売品） ―― 13
　お湯を使うとき ―― 13
　プログラム運転 ―― 15
　　プログラム時刻の合わせかた ―― 15
　　プログラム運転のしかた ―― 17
・防湿型サブリモコンで使う（別売品） ―― 19
　お湯を使うとき ―― 19
・メインリモコンと防湿型サブリモコン ―― 21
　セットで使う場合 ―― 21

故障かな？
・故障かな？ ―― 23
　お湯の出かた ―― 23
　機器本体 ―― 24
　リモコン ―― 25
　リモコンのアラーム番号が出たとき ―― 26

点検・手入れなど
・凍結による破損予防 ―― 27
・点検とお手入れ ―― 29
・寸法図 ―― 30
・仕様 ―― 32
・アフターサービスについて ―― 33
・メモ ―― 34

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

⚠危険

■屋外用ガス機器

●この機器は屋外式ですので絶対に屋内に設置しない。
不完全燃焼を起こし危険です。

⚠警告

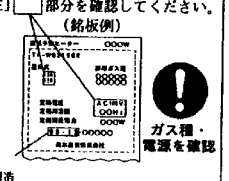
■機器設置（および付帯工事）

●この機器は屋外設置形ですので、増改築などによって屋内状態にしない。また、排気口の前方に物を置いたり、設置後機器を波板やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。
●機器の設置・移動および付帯工事は、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する。設置工事に不備があると事故の原因となります。

■ガス漏れ時の処置

●ガス漏れに気づいたときはガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気機器（換気扇その他）のスイッチの「入」・「切」や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。
炎や火花で引火し火災のおそれがあります。
①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。
②お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。

■使用ガス・使用電源について



●銘板（機器左下正面に貼付）に表示してあるガス（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）の適合を確認する。表示のガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガスの種類（電源の種類）が一致しているかどうか確認する。
●わからない場合はお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。

製造年月を表示しています。
例）98・12→1998年12月の製造

■ソーラーシステムと接続する場合

●ソーラーシステムと接続する場合は、入水温度が設定温度より高くなることがありますので、必ずサーモスタット付混合水栓を使用する。

⚠警告

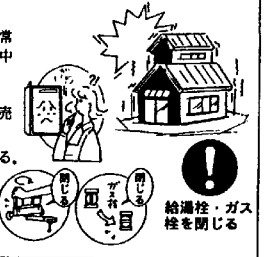
■給湯・シャワーを使うとき

●お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、給水圧が下がったとき、あるいは万一、機器の故障の際には一瞬、あついお湯が出ることがあります。やけどの防止のために出始めのお湯は体にかけない。また、給湯使用時は出湯管（蛇口）があつくなりますのでやけどに注意してください。
●シャワーを使う場合に最初にあついお湯が出ることがあります。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
●シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯が出てやけどしたり、冷水が出てビックリすることがあります。

■火災予防

［可燃物に注意］
●機器および排気口の周囲に燃えやすいものを置かない。
火災の原因となります。
●排気口は洗濯物などでおおわない。
不完全燃焼の原因となります。
［スプレー缶厳禁］
●機器の周囲や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベなどを置かない。熱でスプレー缶内の圧力が上がり爆発するおそれがあります。
［引火のおそれがあるものの使用禁止］
●機器の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを使用しない。
引火して火災のおそれがあります。

■異常時の処置



①点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、使用途中で消火する場合はただちに使用を中止しガス栓を閉じる。
②「故障かな？」（２３ページ）に従い処置をする。
③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。
●地震、火災などの緊急の場合は迅速に使用を中止しガス栓を閉じる。

■ガス接続について

●この機器はねじ接続です。接続は配管技能者が行う必要がありますのでお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

■分解禁止

●修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わない。
異常作動してけがの原因となります。

必ずお守りください

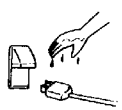
⚠注意

■用途についての注意

●台所・シャワー・洗面所などへの給湯以外の用途には使用しない。
思わぬ事故の原因になることがあります。

■電気事故防止

●ぬれた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。
●電源コードを加工したり無理な力を加えない。感電、ショートや発火による火災のおそれがあります。
●傷んだプラグ、コードは使わないこと。差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。
●電源プラグはほこりをふき取る。発火の原因になります。
●電源コードを引っぱってプラグを抜かない。コードを引っぱると断線して発熱や発火の原因になります。
●この機器は接地工事（アース）が必要ですのでアースされていることを確認する。



禁　止

アースを接続せよ

■やけどに注意

●機器の使用中、または使用直後は排気口とその周辺には絶対に手で触れたりしない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。特に小さな子供のいる家庭では注意が必要です。

接触禁止

ご注意

■補助用具について

●補助用具はこの機器用の付属品あるいは指定のもの以外は使用しないでください。
●水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。（わからないときは、販売店に確認してください。）
●混合水栓には、さまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。
●やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。

■リモコンの注意

●リモコンは分解したり、乱暴に扱わないでください。誤動作や故障の原因となります。
●防滴型サブリモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。メインリモコンおよびサブリモコンには水をかけないでください。
●リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。

分解禁止

禁　止

■飲用にお使いのときは

●機器内に長時間たまった水たとえば、朝一番の使い始めのまだぬるいお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用水としてお使いください。

ご注意

■日常の点検・お手入れ

●日常の点検、お手入れをしてください。（詳しくは２９ページをご覧ください。）
●故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このとき、ご自分で修理なさらずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
●浴室や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分（湯あか）により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水（１０％程度）等で拭き取ってください。

■点火・消火の確認

●使用時の点火、使用後の消火を燃焼表示にて確認してください。

■凍結についての注意

●冬期には機器内の水が凍って機器が破損することがありますので凍結のおそれがあるときは２７ページの「凍結による破損予防」にしたがって処置をしてください。

■凍結したとき

●機器や配管が損傷しますと高額の修理費がかかります。（有料）
●凍結したままでは絶対に使用しないでください。
●再使用の場合は、凍結がとけた後、全ての給湯栓から水が出ることを確認してください。機器および配管から水漏れがないことを確認後、１１ページ「はじめて使うとき」の項以下の操作を行ってください。
●凍結予防運転のために電気を使用していますから緊急のとき以外は電源プラグを抜かないでください。

■雷が発生しているときの注意

●雷が鳴りはじめたらすみやかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を破損することがあります。
●電源プラグを５０分以上コンセントから抜いた場合は、リモコンの現在時刻設定およびプログラム時刻の設定を行い、表示を確認した後ご使用ください。（メインリモコンを取付けている場合）

■雷が鳴った後、機器が作動しないとき

●落雷の際、お湯が出なくなった場合は機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。このようなときには、電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または大阪ガスへご連絡ください。

■停電時や電源プラグを抜いたとき

●この機器は停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
停電時は給湯栓を閉めてください。
●メインリモコンを取付けている場合は、再通電したときにリモコンの現在時刻設定およびプログラム時刻の設定を行い、表示を確認した後ご使用ください。
（５０分以上の停電のときは再設定が必要です。）

必ずお守りください

ご注意

■長期間使用しない場合

●２８ページの機器内の水を抜く方法により、水抜きを行ってください。
水が長い間流れないと一瞬、濁ったお湯が出たり、冬期には、凍結するおそれがあります。

ご注意 **設置状態の確認**

■可燃物との離隔距離

●機器を設置する場所の周囲の壁、天井などが防火上安全なものであるか確認し、可燃性の部分から十分離して設置してください。（わからないときは販売店に確認してください。）

■設置場所について

●設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃焼音、燃焼用送風機等）で迷惑にならない場所に設置してください。（工事する方とよく相談してください。）
●足場などを組まなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。

■給排気について

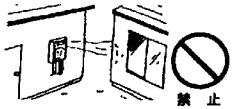
●機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となり危険です。

■塩ビ管の使用について

●給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。
機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。

■排気ガス

●排気ガスが直接建物の外壁やアルミサッシなどに当たらないよう、施工してください。外壁が変色したり、アルミサッシが腐食したりするおそれがあります。
●排気口からの排気ガスによって、加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなど）を置かないでください。

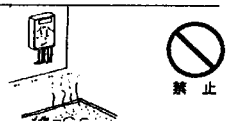


■地下水、井戸水の注意

●地下水や井戸水を使用される場合は施工前に十分水圧（使用水圧が安定しているか）や水質を確認してください。水圧が十分でないと機器の性能が得られないことがあります。また、水質によっては配管や機器を腐食させ、水漏れをおこすことがあります。

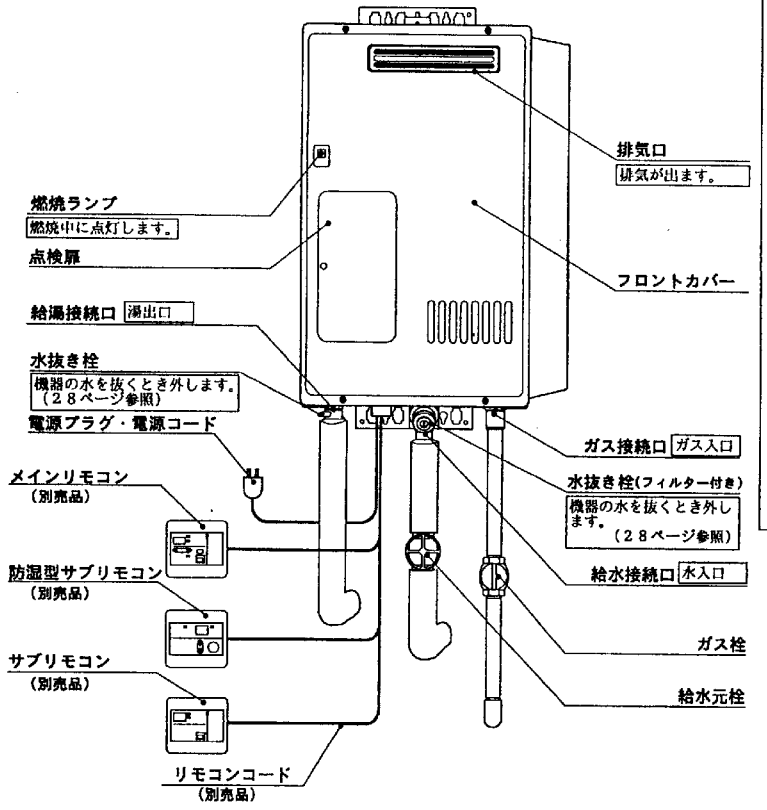
■ほこり

●砂や油煙、ペットの毛などのほこりの立ちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいだり、燃焼用の送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。
（厨房の排気ダクトの近くは油煙による不具合の原因となります。）



各部の名前と参照ページ

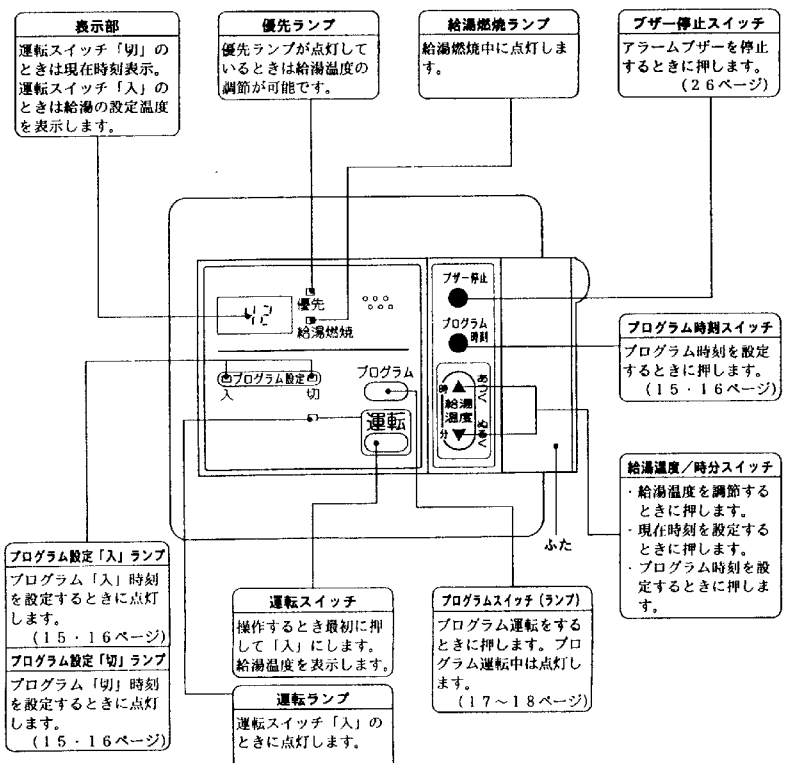
機器本体



この給湯器はリモコンがなくても使用できます。

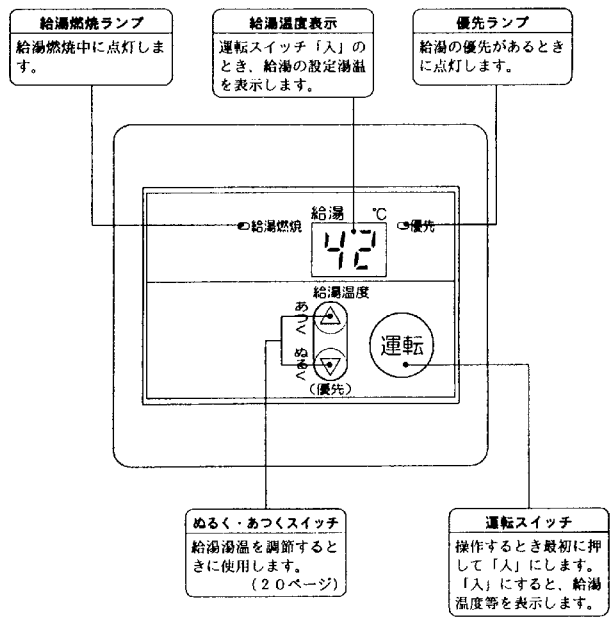
メインリモコン［３８－２０７］（別売品）

●通常はふたを閉じた状態にしておいてください。
●メインリモコンの表示画面は４２℃を表示しています。



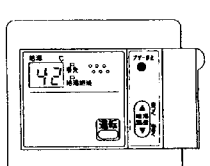
防湿型サブリモコン［３８－２０９］（別売品）

●防湿型サブリモコンの表示画面は４２℃を表示しています。



■サブリモコン
［３８－２０８］（別売品）

台所、浴室以外の部屋から運転スイッチの「入」・「切」、給湯温度調節、ブザー停止ができます。
各部のはたらき、使用方法は、メインリモコン［３８－２０７］と同じ操作ですが、プログラム運転設定及び時計表示はできません。

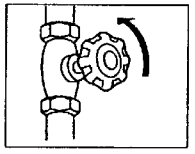


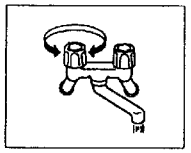
はじめて使うとき

次の確認と準備が必要です

機器および機器周辺の点検・確認を行ってください。（２９ページ）

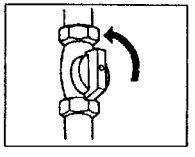
1 水が出ることを確かめる
給水元栓・給湯栓を開ける

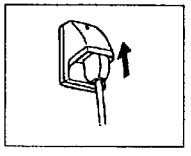




1．水が出ることを確かめる
2．給湯栓を閉じる

2 ガスの開栓と電源プラグが差し込まれていることを確かめる
ガス栓を開け、電源プラグを差し込む

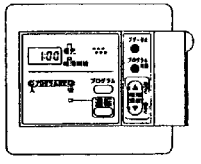




メインリモコン［３８－２０７］（別売品）を取り付けている場合

現在時刻の合わせかた

（「運転」スイッチの「入」・「切」に関係なく操作できます。）

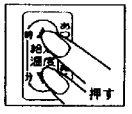


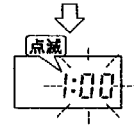
工場出荷時は、現在時刻1:00に設定しています。

お願い

・設定した現在時刻は運転スイッチを「切」にしても記憶されています。ただし、５０分以上停電したとき、または電源を落としたときは1:00に切り替わります。再度設定してください。

①時／分スイッチを同時に押す。





・現在時刻が点滅します。

②時スイッチを押して時の位を合わせる。

・時間の表示は２４時間表示です。
(0:00~23:59)
(例)10:10に設定

③分スイッチを押して分の位を合わせる。

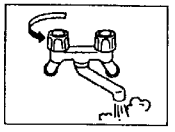
・時刻合わせ後約１０秒で時刻表示が点滅から点灯にかわり、設定終了となります。

●スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。

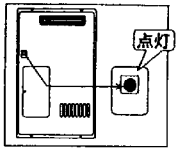
リモコンなしで使う

給湯栓を開ければ、お湯がでます。
お湯の温度は約６０℃の高温(一定)になります。必ず混合水栓をお使いください。

1 お湯を出す

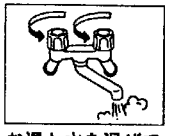


給湯栓を開ける



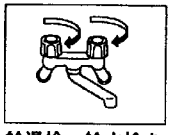
・給湯器の燃焼ランプが点灯します。

2 お湯の温度を調節する

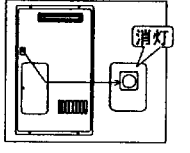


お湯と水を混ぜて調節する

3 お湯を止める



給湯栓、給水栓を閉じる



・給湯器の燃焼ランプが消灯します。

一口メモ

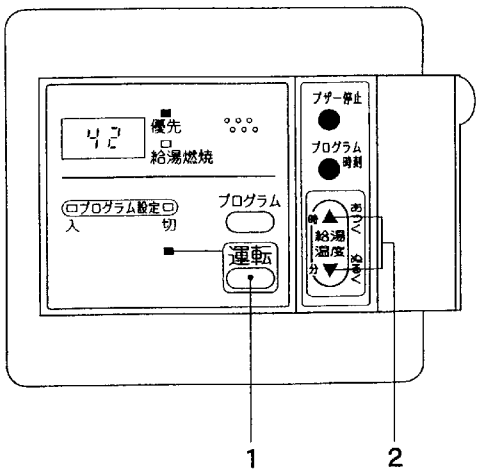
・混合水栓にはサーモスタット付、シングルレバータイプ、止水機能付など、さまざまな種類があり、図と異なる場合があります。

ご注意

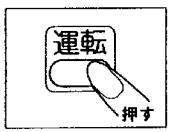
・この機器は約６０℃一定出湯の他に、約７５℃一定、約８０℃一定に設定が可能です。（工場出荷時は約６０℃一定です。）設定温度をかえる場合は、お買上の販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

メインリモコンで使う（別売品）

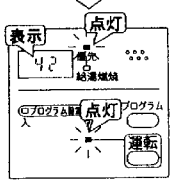
お湯を使うとき



1 運転スイッチを「入」にする



運転スイッチを押す



・給湯温度を表示します。
・運転ランプおよび優先ランプが点灯します。

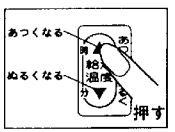
※サブリモコン（３８－２０８）の使用方法は、メインリモコン（３８－２０７）と同様です。ただし、プログラム設定と現在時刻表示はできません。

ご注意

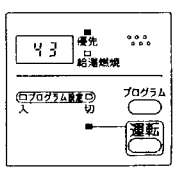
・設定した温度は、運転スイッチを「切」にしても記憶されています。ただし、やけど防止のため、設定温度が６０℃以上のときは、運転スイッチを「切」にした後、再度運転スイッチを「入」にすると自動的に５５℃に切り替わります。
・お湯を使うときは、給湯栓を十分開けてお使いください。
・台所や浴室などで同時使用しますと、お湯の量や温度が変化することがあるのでご注意ください。
・５５℃以下の温度設定のお湯を使いながら６０℃に上げようとすると警告音「ピッ……」が鳴り、やけど防止のため５５℃で止まります。６０℃以上に上げる場合は、一旦お湯を止めてから給湯温度の設定をしてください。設定するときは、他の場所で使われていないことを確認してから行ってください。

※優先ランプが消灯していると給湯温度を変更することはできません。
２１～２２ページのメインリモコンと防湿型リモコンセットで使う場合をご覧ください。

2 お湯の温度を設定する

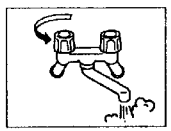


あつく・ぬるくスイッチを押す

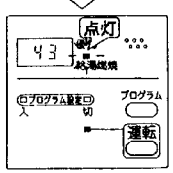


・給湯温度が変わります。

3 お湯を出す

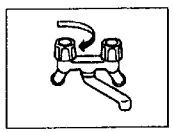


給湯温度を確認し、給湯栓を開ける

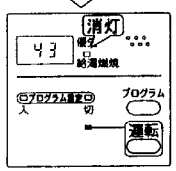


・給湯燃焼ランプが点灯します。

4 お湯を止める



給湯栓を閉じる



・給湯燃焼ランプが消灯します。
■次にお使いになるときは（お湯の温度を変えない場合）３、４の操作で使えます。

給湯温度設定　次のいずれかの温度に設定できます。（目安の温度）
お使いになる温度に設定してください

標準 ➡ 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 50 55 60 70 75 ℃

高温対応➡ 37 38 39 40 41 42 43 44 45 50 55 60 65 70 75 80 ℃

食器洗いなど　シャワー、給湯など　混合水栓で使うときやおふろへのあついたし湯など

工場出荷時の給湯温度の設定は標準となっています。（工場出荷時の給湯温度は４２℃です。）
※給湯温度の高温対応の設定は設置工事時に行います。設定は施工業者に確認してください。

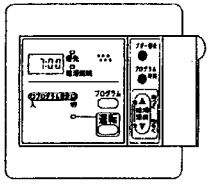
⚠警告

・シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯が出てやけどしたり、冷水が出てビックリすることがあります。
・シャワーを使う場合は、最初にあついお湯が出ることがあります。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
・お湯と水の量の調節やリモコンでの温度設定を確かめてから使う。
・お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、給水圧が下がったとき、あるいは万一、機器の故障の際には一瞬あついお湯が出ることがあります。やけど防止のために出始めのお湯は体にかけない。また、給湯使用時は出湯管（蛇口）があつくなりますのでやけどに注意してください。

一口メモ

・給湯栓から出るお湯の温度は、配管の長さや気温などにより必ずしも表示と一致しません。
目安としてお使いください。
※給湯温度の高温対応の設定は設置工事時に行います。設定は施工業者へ確認してください。

プログラム運転



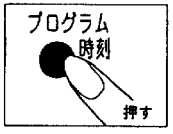
プログラム運転について

・プログラム運転は、毎日決まった時間に自動で運転の「入」・「切」ができる便利な機能です。

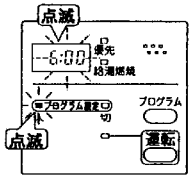
〈メインリモコンのプログラム時刻の合わせかた〉

・メインリモコンの現在時刻が合っているか確認します。現在時刻が合っていない場合は合わせてください。
・プログラム運転をする前にプログラム時刻を合わせます。
・「運転」スイッチの「入」・「切」に関係なくプログラム時刻をセットできます。
・時刻は２４時間表示です。（0:00～23:59）

1 プログラム時刻「入」を設定する



プログラム時刻スイッチを押す

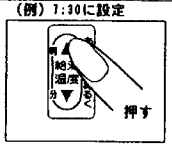


・入の時刻が点滅します。（工場出荷時は、6:00に設定しています。）
・プログラム入ランプが点滅します。

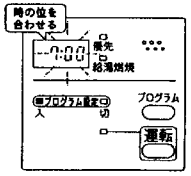
2 「入」の時刻を調節する

（例）7:30に設定

①

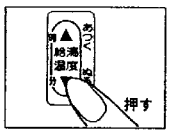


時スイッチを押す

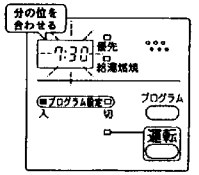


・時の位が変わります。

②



分スイッチを押す



・分の位が変わります。

●スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。

一口メモ

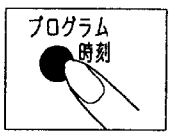
・セットしたプログラム時刻は、記憶されていますので使用する時刻が決まっているときはプログラム時刻を毎日セットする必要はありません。

プログラム時刻スイッチについて

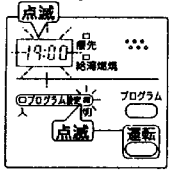
・プログラム時刻スイッチを１回押すごとに右図のように変化します。

押
↓
プログラム時刻" 入" 表示の点滅(入の時刻合わせ)
↓ 押
プログラム時刻" 切" 表示の点滅(切の時刻合わせ)
↓ 押
画面表示が現在時刻に戻ります

3 プログラム時刻「切」を設定する



プログラム時刻スイッチを押す



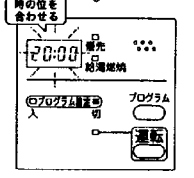
・切の時刻が点滅します。（工場出荷時は、19:00に設定しています。）
・プログラム入ランプが消灯し、プログラム切ランプが点滅します。

4 「切」の時刻を調節する

（例）20:30に設定

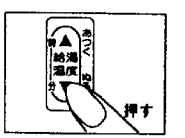
①

時スイッチを押す

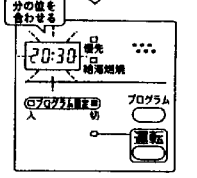


・時の位が変わります。

②

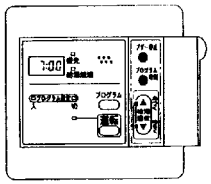


分スイッチを押す



・分の位が変わります。
・約１０秒後、画面表示が現在時刻に戻り、プログラム切ランプが消灯します。

●スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。



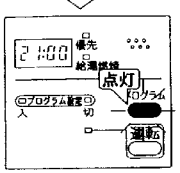
〈プログラム運転のしかた〉

・メインリモコンの現在時刻・プログラム時刻を確認してください。
プログラム時刻の確認は、プログラム時刻スイッチのみを押して行ってください。 1回押すごとに順次表示します。
・プログラム時刻の変更は<プログラム時刻の合わせかた>を参考にしてください。

1 プログラム運転をする

給湯温度を確認してから

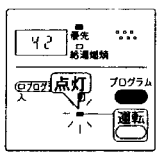
プログラムスイッチを押す



・プログラムスイッチが点灯します。
プログラム運転がセットされた状態になります。

2 「入」および「切」の時刻になると

①入時刻になると

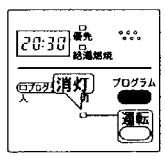


・運転が「入」になり、運転ランプが点灯します。表示部が給湯温度表示になります。
（メインリモコンに優先がある場合）

お湯を出す

・お湯の温度を変更する場合は14ページ参照。
・優先がないときは優先を移してから温度を設定してください。（21ページ参照）

②切時刻になると



・運転が「切」になり、運転ランプが消灯します。
表示部が現在時刻表示になります。

ご注意

・プログラム運転中（プログラムスイッチ点灯中）でも、運転ランプ（メインリモコン）が消灯しているときは、給湯栓を開けてもお湯は出ません。給湯を使用する場合は、運転スイッチを「入」にしてから使用してください。

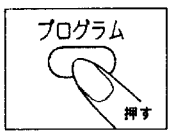
一口メモ

・セットしたプログラム時刻は、記憶されていますので使用する時刻が決まっている時はプログラム時刻を毎日セットする必要はありません。

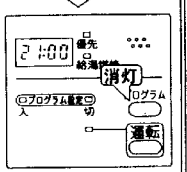
①	②
運転の停止中に解除した場合	運転中に解除した場合
プログラム運転は解除されプログラムスイッチは消灯します。	プログラム運転は解除されますが、通常運転になります。プログラムスイッチは消灯します。運転ランプは点灯したままです。

プログラム運転を解除する

①

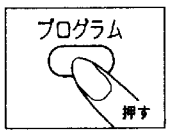


プログラムスイッチを押す

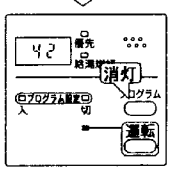


・プログラムスイッチが消灯します。

②



プログラムスイッチを押す



・プログラムスイッチが消灯します。

プログラム運転をセットした後
（プログラムスイッチ点灯中）

運転を停止するには

運転スイッチを押す

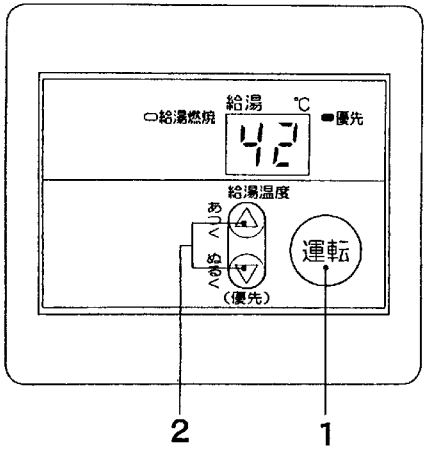
・押すと運転動作が変わり（運転→停止、停止→運転）もう一度押すともとに戻ります。
運転中は運転ランプが点灯し、停止中は、消灯します。
・プログラム運転の設定は解除されません。（プログラムスイッチは点灯したままです。）

ご注意

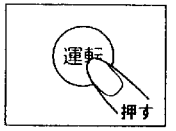
・プログラム運転をセットした後、停電や電源プラグを抜いたときは、セットが解除されます。
電源復帰後、プログラムスイッチを押してセットしなおしてください。

防湿型サブリモコンで使う（別売品）

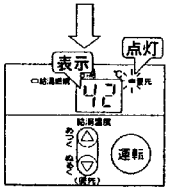
お湯を使うとき



1 運転スイッチを「入」にする

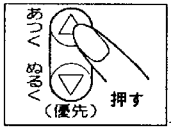


運転スイッチを押す

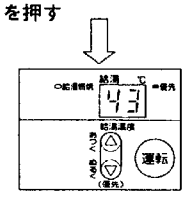


・給湯温度が表示し、優先ランプが点灯します。

2 給湯の温度を設定する

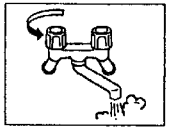


ぬるく・あつくスイッチを押す

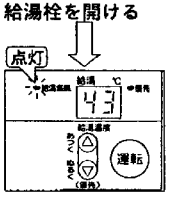


・給湯温度が変わります。

3 お湯を出す

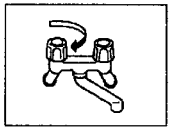


給湯温度を確認し、給湯栓を開ける

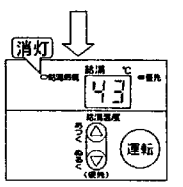


・給湯燃焼ランプが点灯します。

4 お湯を止める



給湯栓を閉じる



・給湯燃焼ランプが消灯します。

■次にお使いになるときは
（お湯の温度を変えない場合）
3、4の操作で使えます。

給湯温度設定　次のいずれかの温度に設定できます。（目安の温度）
お使いになる温度に設定してください

標準 ➡ 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 50 55 60 70 75 ℃

高温対応➡ 37 38 39 40 41 42 43 44 45 50 55 60 65 70 75 80 ℃

37：食器洗いなど　38～45：シャワー、給湯など　50～80：混合水栓で使うときやおふろへのあついたし湯など

工場出荷時の給湯温度の設定は標準となっています。（工場出荷時の給湯温度は４２℃です。）
※給湯温度の高温対応の設定はメインリモコン側で設置工事時に行います。設定は施工業者に確認してください。

ご注意

・設定した温度は、運転スイッチを「切」にしても記憶されています。ただし、やけど防止のため、設定温度が６０℃以上のときは、運転スイッチを「切」にした後、再度運転スイッチを「入」にすると自動的に５５℃に切り替わります。
・お湯を使うときは、給湯栓を十分開けてお使いください。
・浴室や台所などで同時使用しますと、お湯の量や温度が変化することがあるのでご注意ください。
・５５℃以下の温度設定のお湯を使いながら６０℃以上に上げようとすると警告音「ピッ‥‥」が鳴り、やけど防止のため５５℃で止まります。６０℃以上に上げる場合は、一旦お湯を止めてから給湯温度の設定をしてください。設定するときは、他の場所で使われていないことを確認してから行ってください。

⚠警告

・シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯が出てやけどしたり、冷水が出てビックリすることがあります。
・シャワーを使う場合は、最初にあついお湯が出ることがあります。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
・お湯と水の量の調節やリモコンでの温度設定を確かめてから使う。
・お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、給水圧が下がったとき、あるいは万一、機器の故障の際には一瞬あついお湯が出ることがあります。やけど防止のために出始めのお湯は体にかけない。また、給湯使用時は出湯管（蛇口）があつくなりますのでやけどに注意してください。

一口メモ

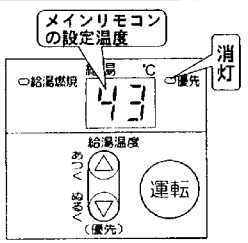
・給湯栓から出るお湯の温度は、配管の長さや気温などにより必ずしも表示と一致しません。
目安としてお使いください。
・サーモスタット付混合水栓がついている場合は、リモコンの給湯温度は５０、５５℃に設定してください。
たとえば約４０℃のシャワーを浴びたいときは、サーモスタット付混合水栓で約４０℃（適温）にします。
・給湯温度設定の高温対応は、メインリモコンを取付けている場合に設定できます。

メインリモコンと防湿型サブリモコンセットで使う場合
（サブリモコン）

優先について　シャワーを安全にお使いいただくために（やけど注意）

・シャワー使用中に他のリモコンでお湯の温度を変えるとやけどをするおそれがあります。
温度が調節できるリモコンはどちらか１つに限ることを優先といいます。
・優先は、優先ランプが点灯しているリモコンにあります。
シャワー・給湯を使うときは優先があることを確かめてからお使いください。
メインリモコン、防湿型サブリモコンの操作は１３～２０ページをお読みください。

1 優先ランプの点灯を確認

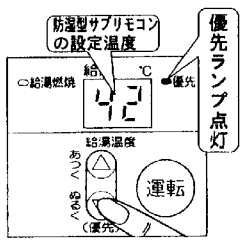


（防湿型サブリモコン）
優先表示がないから
温度調節ができない。

〔優先ランプが点灯しているときは〕

①設定温度を変えないで使うときは、４へ
②設定温度を変えて使うときは、３、４へ

2 優先を移す



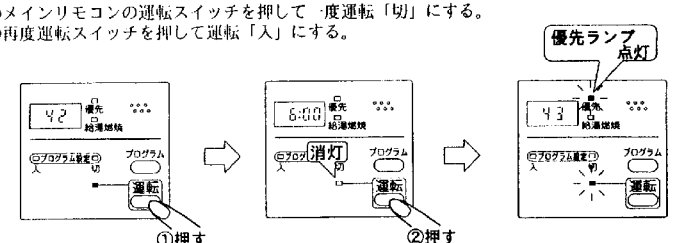
ぬるくスイッチを押す

・現在の防湿型サブリモコンの設定温度が表示します。

①設定温度を変えないで使うときは、４へ
②設定温度を変えて使うときは、３、４へ

防湿型サブリモコンからメインリモコンへ優先を切り替えるとき

①メインリモコンの運転スイッチを押して一度運転「切」にする。
②再度運転スイッチを押して運転「入」にする。



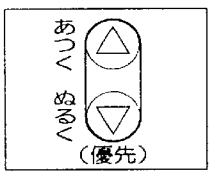
運転ランプが消灯します。
給湯温度表示が現在時刻表示にかわります。
（運転「切」の状態）

優先が切り替わります。
（運転「入」の状態）

注）この方法で優先を切り替えるときは他の場所で使われていないことを確認してから行ってください。

シャワー使用中は、運転スイッチ・優先スイッチをシャワー使用者以外のかたが操作しないことが、安全にお使いいただくための基本です。

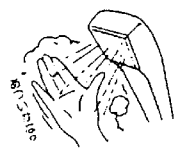
3 お湯の温度を調節する



ぬるく・あつくスイッチで調節します。　（２０ページ）

4 シャワーを使う

給湯温度を確認し、給湯栓を開ける



⚠警告

・防湿型サブリモコン側でシャワー・給湯を使っているときは、メインリモコンで運転スイッチの「入」「切」を行わない。優先がメインリモコンに移り、あついお湯が出る場合があります。
・メインリモコンに優先があり、メインリモコン等で給湯を使用しているときには、防湿型サブリモコンのぬるく（優先）スイッチを押さない。押すと防湿型サブリモコンに優先が移り、防湿型サブリモコンで設定されたお湯が出てきます。設定温度によっては、やけどするおそれがあります。

ご注意

・優先のないリモコンの運転スイッチを「切」にして、再度「入」にすると「入」にしたリモコンに優先が移ります。
メインリモコンから防湿型サブリモコンへの優先切り替えは防湿型サブリモコンのぬるく（優先）スイッチで操作することをおすすめします。
・給湯温度が６０℃以上に設定してあるリモコンに優先を移した場合は、やけど防止のため自動的に５５℃に設定がかわります。

一口メモ

・サブリモコンを取付けている場合、優先がメインリモコンにあるときは、サブリモコンにも優先があります。
・サブリモコンとメインリモコンは連動しています。サブリモコンの「運転」スイッチを「入」にするとサブリモコンとメインリモコンに優先ランプが点灯し、サブリモコンでも給湯温度を設定できます。
給湯温度は設定したリモコン側の温度になります。

故障かな？

お湯の出かた

こんな時？	故障ではありません
給湯栓を開いてもすぐにお湯がでない	最初に使うときは、機器から給湯栓までの配管内の水が押し出されるまで少し時間がかかります。
夏などぬるいお湯が出ない	給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。水温が高いときぬるいお湯を少量出そうとするとお湯の温度が高くなることがあります。
冬などあついお湯が出ない	お湯の量を少なめにしてお使いください。水温が低いときは、お湯を出しすぎるとあついお湯が出ない場合があります。
給湯栓を絞りすぎて水になった	給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。機器から出るお湯の量が1分間に約3．0ℓ以下になると消火するためです。
お湯が白く濁って見える	水の中の空気が分離して気泡となるためです。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違い無害なものです。

こんな時？	調べるところ・・・	
あついお湯が出ない	□ 湯温調節は適切ですか？	(14・20ページ)
	□ ガス栓が全開になっていますか？	(11ページ)
ぬるいお湯が出ない	□ 湯温調節は適切ですか？	(14・20ページ)
	□ 水フィルターが詰まっていませんか？	(29ページ)
	□ 給湯栓が十分開いていますか？	(14・20ページ)
	□ 給水元栓が全開になっていますか？	(11ページ)
お湯が出ない（運転しない）	□ 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？	(11ページ)
	□ 停電していませんか？	(6ページ)
	□ ガス栓が全開になっていますか？	(11ページ)
	□ 給水元栓が全開になっていますか？	(11ページ)
	□ 水フィルターが詰まっていませんか？	(29ページ)
	□ 給湯栓が十分開いていますか？	(14・20ページ)
	□ 断水していませんか？	
	□ 凍結していませんか？	(28ページ)

それでもわからないときはアフターサービスをお申しつけください

機器本体

こんな時？	故障ではありません
寒い日に排気口から白い湯気が出る	冬に、吐く息が白いのと同じように、排気ガスの中の水蒸気が白く見えます。
出湯停止後もファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするためしばらくは回転しています。
給湯栓を閉じると給水側の水抜き栓から一瞬水が漏れる	給水側の水抜き栓は、圧力逃し弁をかねています。水の圧力を逃がすために、水が出る場合があります。

こんな時？	調べるところ・・・	
燃焼ランプが点灯しない（運転しない）	□ 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？	(11ページ)
	□ 停電していませんか？	(6ページ)
	□ ガス栓が全開になっていますか？	(11ページ)
	□ 給水元栓が全開になっていますか？	(11ページ)
	□ 水フィルターが詰まっていませんか？	(29ページ)
	□ 給湯栓が十分開いていますか？	(14・20ページ)
	□ 断水していませんか？	
	□ 凍結していませんか？	(28ページ)
	上の8項目を確認してリセット操作をしてください。〔リセット操作〕運転スイッチを「切」にし、1秒後「入」にしてお使いください。	
燃焼ランプが点滅した	□ ガス栓が全開になっていますか？	(11ページ)
	□ 給水元栓が全開になっていますか？	(11ページ)
	□ 水フィルターが詰まっていませんか？	(29ページ)
	上の3項目を確認してリセット操作をしてください。	
運転中に機器から異常音が聞こえる	点検依頼してください。	

それでもわからないときはアフターサービスをお申しつけください

リモコン　［リモコンを取付けている場合］

こんな時？　故障ではありません

現在時刻が合っていない
→ ５０分以上の停電や電源プラグを抜いた後、再通電すると時刻表示が１：００から進み始めます。
再度、現在時刻を合わせてください。
（メインリモコンを取付けている場合）

こんな時？　調べるところ・・・

画面表示しない
メインリモコンの運転ランプが点灯しない
→ □ 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？（11ページ）
□ 停電していませんか？（6ページ）

給湯燃焼ランプが点灯しない（運転しない）
→ □ 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？（11ページ）
□ 停電していませんか？（6ページ）
□ ガス栓が全開になっていますか？（11ページ）
□ 給水元栓が全開になっていますか？（11ページ）
□ 水フィルターが詰まっていませんか？（29ページ）
□ 給湯栓が十分開いていますか？（14・20ページ）
□ 断水していませんか？
□ 凍結していませんか？（28ページ）
上の８項目を確認してリセット操作をしてください。
リセット操作
運転スイッチを「切」にし、１秒後「入」にしてお使いください。

アラーム番号が表示されたとき
→ アラーム番号を確認してください。（26ページ）

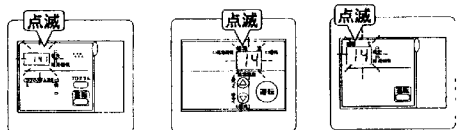
それでもアラーム番号が出るときは、修理を依頼してください。

リモコンのアラーム番号が出たとき

・リモコンのアラーム番号がでるときは、アラームブザーが鳴ります。メインリモコンかサブリモコンのブザー停止スイッチを押して、ブザーを止めてください。
・不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し、自動的に運転を停止します。
・アラーム番号が表示点滅したときは、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。**そのときは表示されているアラーム番号もお知らせください。**
・メインリモコンはアラーム番号の表示点滅と同時にアラームブザーが鳴ります。アラームブザーの解除はメインリモコンまたはサブリモコンのブザー停止スイッチを押して行ってください。
（アラームブザーは解除しますが、アラーム番号の表示点滅は解除されません。）

（例）図のようにアラーム番号が表示点滅してお知らせします。

［メインリモコン］　［防湿型サブリモコン］　［サブリモコン］



本体表示	アラーム番号	原　因	処　置
燃焼ランプ消灯	031 141 711 741 751	制御基板の異常のため	ガス栓が全開であることを確認後、リモコンの運転スイッチを「切」にし、１秒後、運転スイッチを「入」にしてお使いください。 ⬇ それでもアラーム番号が出るときは、修理を依頼してください。
	701	設定温度より高い温度で出湯されたため（５０℃以下の設定温度で６０℃以上のお湯が出たため）	
燃焼ランプ点滅	111 121	火がつかないときや、使用中に炎が消えてしまったため	
	311 321 331	温度検出器の故障のため	
	391 611 721	燃焼系の故障のため	
	510	ガス回路の故障のため	
	651 661 541	水回路の故障のため	
——	101	給排気の異常が生じたため、燃焼異常検知装置が作動しました。	使用できますが十分な給湯能力が出ない状態ですので、なるべく早く修理を依頼してください
燃焼ランプ点滅	991	燃焼異常が発生したため燃焼異常検知装置が作動しました。	給湯器を使用できません。電源プラグを抜かないで、ガス栓・給水元栓閉じて修理を依頼してください。

※防湿型サブリモコンおよびサブリモコンは、簡易表示のためアラーム番号の左側2桁の表示点滅となります。

こんな場合には安全装置が働きます

・寒いとき、機器の電気ヒーターが働き機器内の凍結を予防します。……凍結予防装置
・バーナーの炎が消えた場合にガスを止めます。……立消え安全装置
・電気回路に漏電が生じた場合に電気を停止します。……漏電安全装置
・給水されていないのに燃焼している場合にガスを止めます。……残火安全装置
・機器の温度が異常に上昇した場合にガスを止めます。……過熱防止装置
・機器内の水圧が異常に上昇した場合に機器の損傷を防止します。……過圧防止安全装置

凍結による破損予防

機器や配管が凍結すると、給湯ができないばかりでなく、水漏れの原因となります。次のいずれかの方法により凍結による破損を予防してください。

- 通常の寒さのとき（外気温が－１５℃～０℃）は凍結予防装置による方法
- 異常寒波のとき（外気温が－１５℃以下）は通水による方法
- 長期不在のときは機器内の水を抜く方法

通常の寒さのとき(外気温が－１５℃～０℃)　凍結予防装置による方法

・この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒーターがついています。通常は機器の電源プラグをコンセントに差し込まれた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。
・凍結予防装置は運転スイッチが「入」・「切」に関係なく作動します。

電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確かめる

お願い

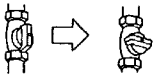
・電源プラグがコンセントから抜かれていると作動しませんのでご注意ください。
・この方法では、機器内の凍結を予防できても配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材や電気ヒーターを巻くなどの措置をしてください。
・次の朝、お使いになるときは給湯栓を開けて、水が出ることを確認してから運転スイッチを「入」にしてください。

異常寒波のとき　（外気温が－１５℃以下）　通水による方法

機器本体だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓などの凍結予防もできます。

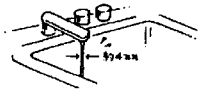
1 運転スイッチを「切」にする

2 ガス栓を閉じる



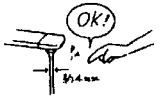
3 給湯栓から水を流す

１分間に約４００cc…太さ約４㎜を流したままにしておきます。



4 流れる量を確認する

流量が不安定になることがありますので約３０分後に再度流れる量を確認してください。



お願い

・家の人に凍結予防のため水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。

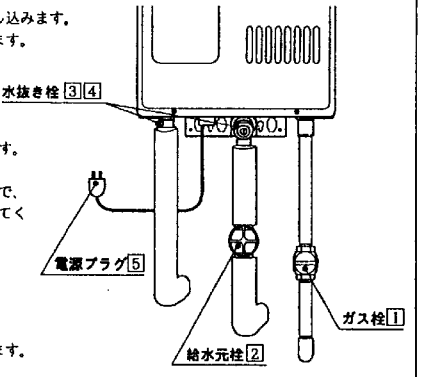
⚠注意 やけど注意
・使用後すぐに水抜きをしない。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行う。

長期不在のとき　機器内の水を抜く方法

長期不在等で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や電源プラグを抜く場合には、この機器内の水を抜く方法によります。

①ガス栓[1]を閉じます。
②電源プラグ[5]を抜き、一度コンセントに差し込みます。
③１５秒ほど待ち、再び電源プラグ[5]を抜きます。
④給水元栓[2]を閉じます。
⑤全ての給湯栓を全開にします。
⑥水抜き栓[3][4]を外して、水が出ることを確認してください。
⑦水抜き終了後、水抜き栓を元の所に取付けます。

・以上の操作で機器内の水は排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。



再使用する場合

①水抜き栓[3][4]を閉じます。
②全ての給湯栓を閉じます。
③給水元栓[2]を開き、水漏れがないか確認します。
④電源プラグ[5]をコンセントに差し込みます。
⑤ガス栓[1]を全開にします。

お願い

・水抜きをするとき、床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して、水を受けてください。
・水抜き栓は元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分であったり閉じ忘れたりするとそこから水漏れします。
・水抜き栓の閉じ忘れなどによる水漏れで壁を汚したり、階下を濡らした場合の修理・補修費用は、お客様の負担となります。

凍結したときは

・凍結した場合、ガス栓・給水元栓を閉じてください。凍結したまま運転操作をしますと機器に異常が生じる場合があります。運転スイッチを「切」の状態で給湯栓を開けて水が出てくればご使用になれます。
・通水したら、水漏れがないことを確認のうえ、ご使用ください。
・取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損しますと高額の修理費用（有料）がかかる場合があります。
・機器や配管が破損し、水漏れで壁を汚したり、階下を濡らした場合の修理・補修費用は、お客様の負担となります。

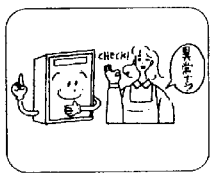
点検とお手入れ

安全にお使いいただけるように、点検と手入れは定期的に行いましょう。

点　検

□ 機器の周りや排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？

□ 運転中に機器から異常（異常音、排気に不快な臭い、目にしみるなど）がありませんか？



□ 機器の外観に異常がありませんか？

□ 機器や配管よりガスの臭気がありませんか？

□ 機器や配管より水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなく、お隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。

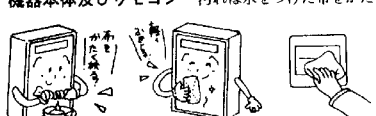
□ 排気口が積雪や屋根から落ちた雪により閉塞されていませんか？
排気口が閉塞されていると機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気口を閉塞する恐れがある場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

お手入れ

給水元栓・ガス栓を閉じ、電源プラグを抜いて機器が冷えてから行ってください。

フロントカバーを外したり、リモコンなどを分解したりしないでください。
お手入れの際、指先には十分注意してください。

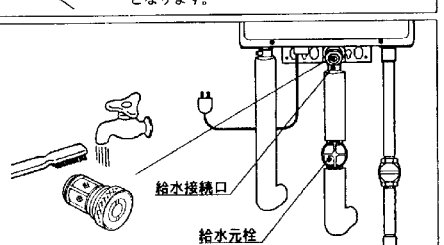
機器本体及びリモコン　汚れは水をつけた布をかたく絞り、軽く拭きとってください。



・シンナー・ベンジンなどは使わないでください。変形する場合があります。
・リモコンの内部には電気部品が入っていますので、水をかけないでください。故障の原因となります。

給水側水フィルター

次の要領で定期的に行ってください。
（1）給水元栓を閉じます。
（2）給水接続口にある水フィルターを外します。
（3）水フィルターを歯ブラシなどで洗います。
（4）水フィルターをもとにもどし、給水元栓を開けます。



点検・お手入れ後の確認

・点検・お手入れの後は、電源プラグを入れガス栓を開いて、運転スイッチを「入」にして給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。
・万一、異常な燃焼・臭気・異常音を感じられたときは、使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

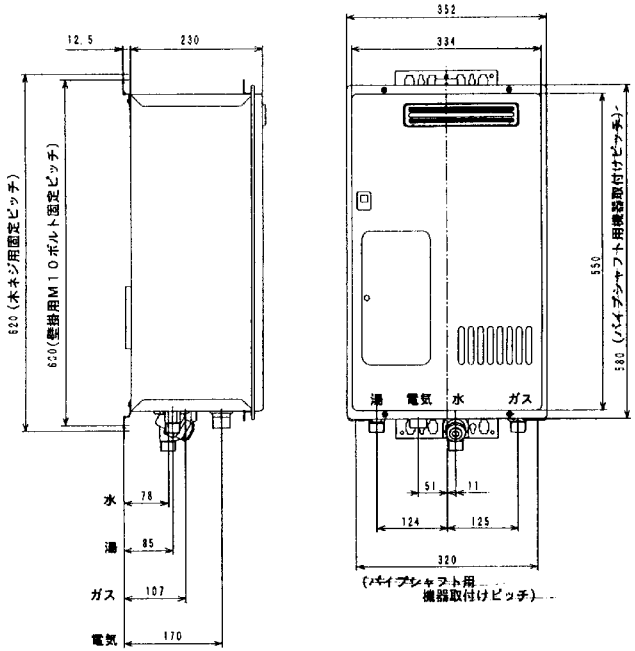
定期点検のおすすめ〈有料〉

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスにご相談ください。

寸法図

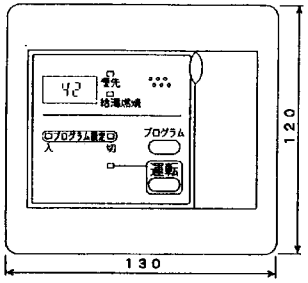
機器本体

（単位：mm）



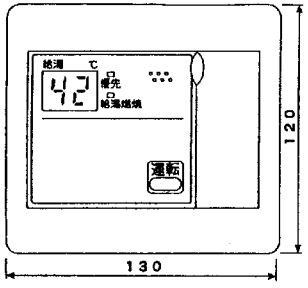
メインリモコン［38－207］（別売品）

（単位：mm）



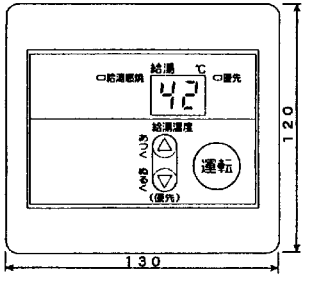
サブリモコン［38－208］（別売品）

（単位：mm）



防湿型サブリモコン［38－209］（別売品）

（単位：mm）



仕　様

仕様表

項目		内容	補足説明
品名		33－362型	
型式名		TP－WQ325GR	
外形寸法(mm)／質量(kg)		幅352×奥行230×高さ580／29	機器の外形寸法／本体の質量
種類	給湯方式	先止め式	給湯栓の開閉で点火・消火できる機器
	設置方式	屋外設置型壁掛形	屋外設置しているもの
点火方式		AC100V連続放電式（ダイレクト着火）	放電火花による点火方式
水圧	使用水圧	100～800kPa｛1.0～8.0kgf／cm²｝	使用できる水圧
	最低作動水圧	10kPa｛0.1kgf／cm²｝	機器が作動する最低の水圧
接続	ガス	20A（R3／4）オネジ	各配管の接続口径
	給水・給湯	20A（R3／4）オネジ	
電気関係	電源	AC100V（50／60Hz）	使用できる電源
	消費電力 定格	80W	点火時（能力最大）の消費電力
	凍結予防ヒーター	88W	凍結予防ヒーターの消費電力
	電源コード	VCT（2芯）2m	機器の電源コードの種類と長さ
安全装置		本炎検知装置（水量センサー） 残火安全装置（バイメタル式） 逆風検知装置（回転数検知方式） 過熱防止装置（温度ヒューズ） 凍結予防装置（電気ヒーター） 過圧防止安全装置（スプリング式） 立消え安全装置（フレームロッド方式） 誘導雷保護装置（サージアブソーバー） 誤電安全装置（誤電リレー）	安全装置の名称
付属品		アース線・壁固定金具一式	
別売品		メインリモコン・防湿型サブリモコン・サブリモコン・リモコンコード	

能力表

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量 kW｛kcal／h｝	出湯能力（最大時）（　／min） 水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇	ガス接続
都市ガス	13A	69.2｛59,500｝	（32）	20	20A（R3／4）

◎ガス：ＪＩＳに規定する標準ガス・標準圧力のとき。
◎出湯能力は、水圧200kPa｛2.0kgf／cm²｝のときで（　）内の数値は相当能力であり、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

・２３～２６ページの「故障かな？」の項をご確認ください。それでも直らない場合、あるいは不明の場合には、ご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
・アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
（１）氏名・住所・電話番号・道順（付近の目印）
（２）品名　例）３３－３６２型（ガスの種類：例えば１３Ａ）
（右のようなラベルを機器の前面部に貼付けてあります）

（３）お買い上げ日（保証書をご覧ください。）
（４）故障または異常の内容（アラーム表示の状態など、できるだけ詳しく）
（５）訪問ご希望日

保証書について

・このガス給湯器には保証書がついています。
・保証書に記載のように、ガス給湯器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
・保証書を紛失されますと無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
・保証期間経過後の故障修理については、お買上の販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

補修用性能部品の最低保有期間について

・修理によって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
・補修用性能部品（機能維持のための必要な部品）の最低保有期間は製造打切後７年です。
ただし、最低保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

転居または機器を移設されるとき

・ガスの種類には都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

メ モ

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先
別添　大阪ガスのお問い合わせ先をご参照願います。

お願い　ガスくさいときは、ガス栓を閉じ窓を全開にして、（火気に注意して）大阪ガスに連絡してください。

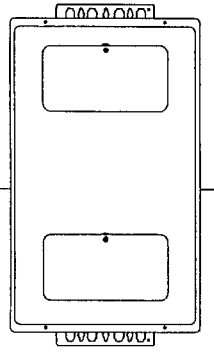
JL5011

マルチコントローラー

３８－２０６型

型式名　ＴＰ－ＭＣ５

取扱説明書



ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みになり、十分理解したうえで、正しくお使いください。別添の保証書とともに、この「取扱説明書」はいつでもご覧になれるところへ大切に保管してください。
なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。

もくじ

・安全に正しくお使いいただくために―― 1
・必ずお守りください―― 1
・システム概要―― 3
・各部の名称と参照ページ―― 4
　機器本体―― 4
　メインリモコン（別売品）―― 5
　防温型サブリモコン（別売品）―― 6
　サブリモコン（別売品）―― 6
・はじめて使うとき―― 7
　現在時刻の合わせかた―― 8
・メインリモコンで使う―― 9
　お湯を使うとき―― 9
　プログラム運転―― 11
・防温型サブリモコンで使う―― 15
　お湯を使うとき―― 15
・メインリモコンと防温型サブリモコンセットで使う場合―― 17
・循環回路制御について―― 18
・故障かな？―― 19
　お湯の出かた―― 19
　機器本体・システム―― 20
　リモコンのアラーム番号が出たとき―― 21
・凍結による破損予防―― 22
・点検とお手入れ―― 23
・寸法図・仕様―― 24
・アフターサービスについて―― 25
・メモ―― 26

大阪ガス

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのマルチコントローラーをお買い上げいただき、ありがとうございました。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型式名・製造年月をお知らせください。

安全に正しくお使いいただくために

表示について

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を示しています。

一般的な禁止　火気厳禁　分解禁止　必ず行う

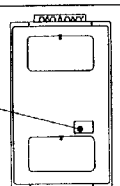
ご注意 ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

一口メモ 知っておいて欲しい内容を示しています。

（○○ページ） 文章中の（　）内のページは参照ページを示しています。

機器本体の表示について

定格銘板
型式名・製造年月・製造業者等を表示しています。



必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

⚠警告

■ガス漏れ時の処置

●ガス漏れに気づいたときはすべての処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気機器（換気扇その他）のスイッチの「入」・「切」や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。
炎や火花で引火し火災のおそれがあります。
①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。
②お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。

火気厳禁

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

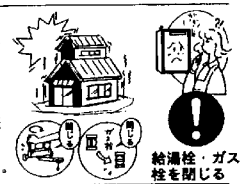
⚠警告

■機器設置（および付帯工事）

●この機器は屋内、屋外に設置可能です。熱源機の施工条件に合わせ、設置してください。
●機器の設置・移動および付帯工事は、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する。設置工事に不備があると事故の原因となります。

■異常時の処置

①熱源機が点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、使用途中で消火する場合はただちに使用を中止しガス栓を閉じる。
②「故障かな？」（１９ページ）に従い処置をする。
③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへ連絡する。
●地震、火災などの緊急の場合は迅速に使用を中止しガス栓を閉じる。



■分解禁止

●修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わない。
異常作動してけがの原因となります。

ご注意

■日常の点検・お手入れ

●日常の点検、お手入れをしてください。（詳しくは２３ページをご覧ください。）
●故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このとき、ご自分で修理なさらずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

■点火・消火の確認

●使用時の点火、使用後の消火を燃焼表示にて確認してください。

■設置場所について

●足場などを組んだりしなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。

■給排気について

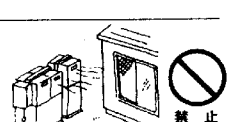
●熱源機は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となり危険です。

■塩害

●海岸近くに設置する場合、機器が塩分を多量に含んだ雰囲気にさらされるときは、必要な防護処置をとってください。機器が腐食し、故障の原因になります。

■排気ガス

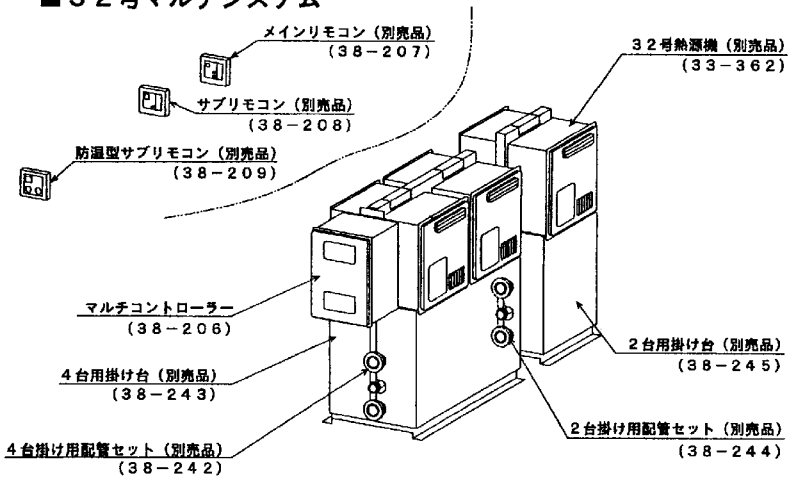
●熱源機の排気ガスが直接建物の外壁やアルミサッシなどに当たらないよう、施工してください。外壁が変色したり、アルミサッシが腐食したりするおそれがあります。
●熱源機の排気口からの排気ガスによって、加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなど）を置かないでください。



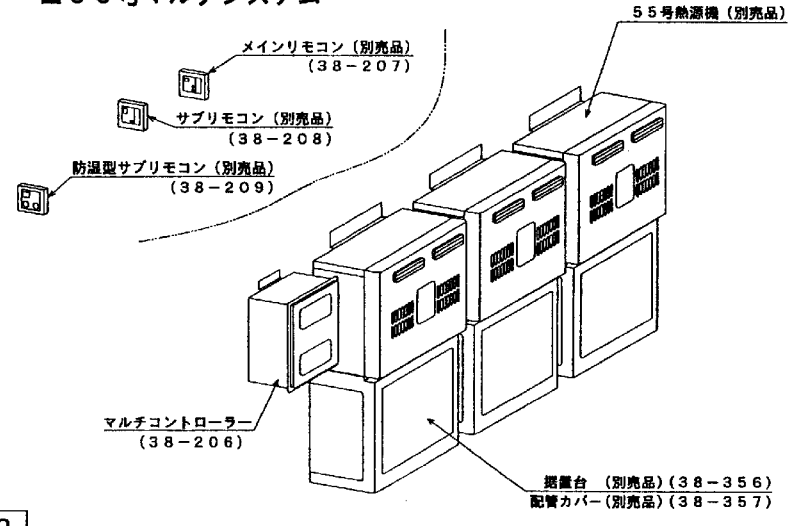
※熱源機については、熱源機に付属の取扱説明書をご覧ください。

システム概要

■３２号マルチシステム

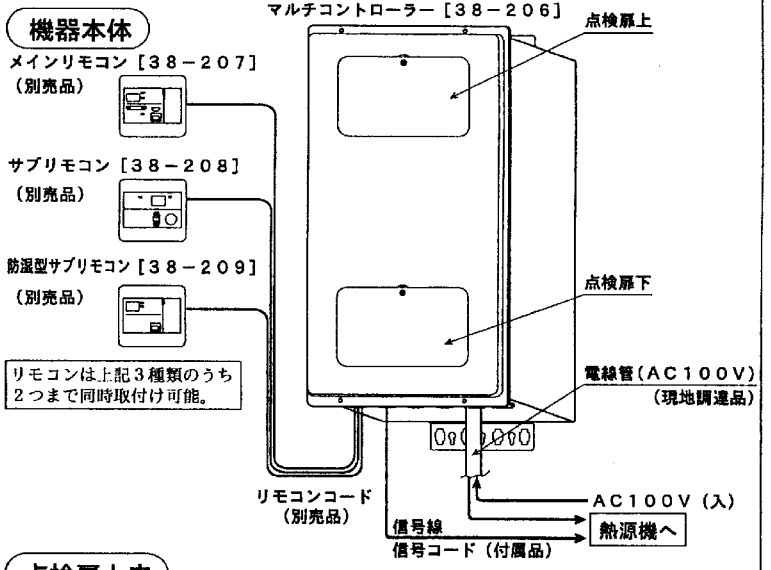


■５５号マルチシステム



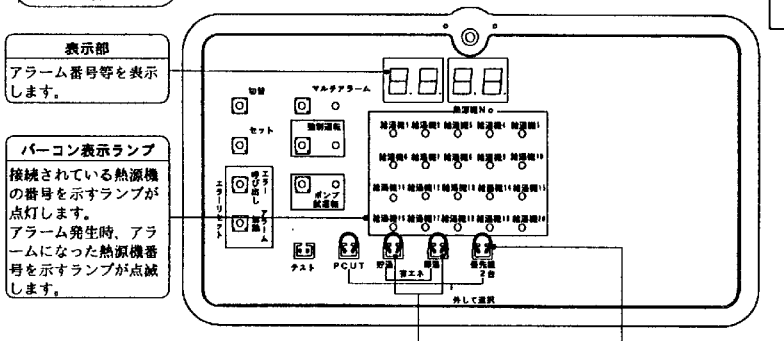
各部の名前と参照ページ

機器本体



リモコンは上記３種類のうち２つまで同時取付け可能。

点検扉上内



「貯湯」「即湯」コネクター

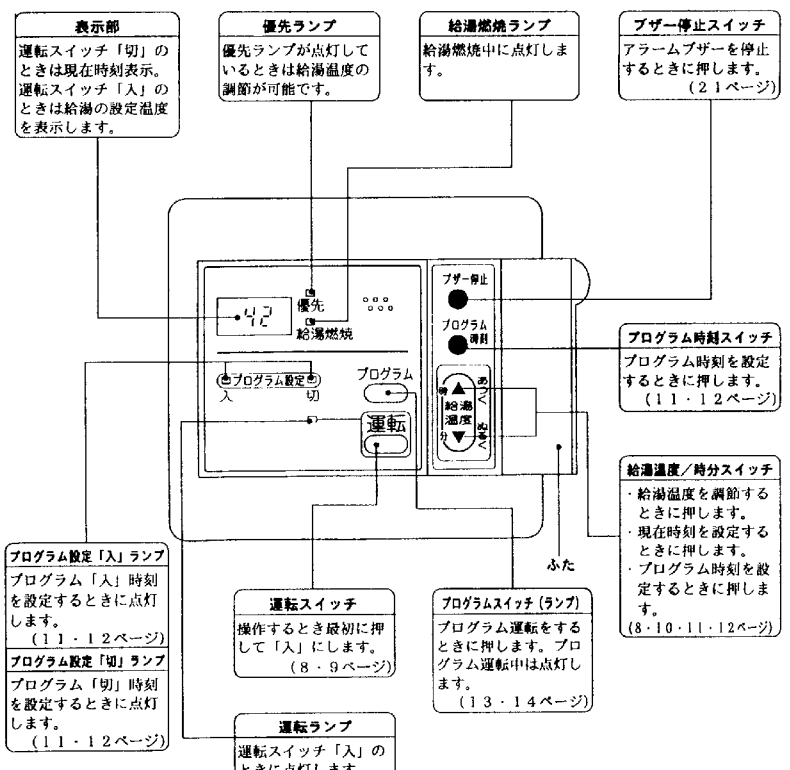
湯水回路を循環回路にした場合、目的に合わせコネクターを抜いてください。
（１８ページ）

「優先機２台」コネクター

常に多量のお湯（１０ℓ／min以上）を使用する場合は、このコネクターを抜いてください。最少燃焼台数が２台になります。

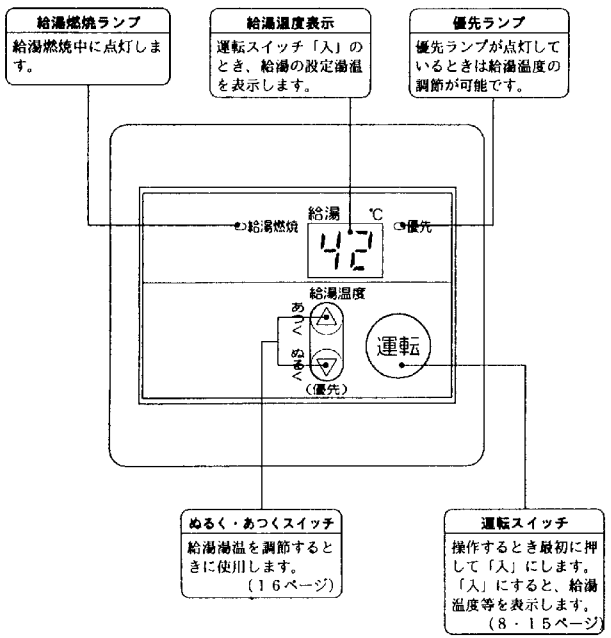
メインリモコン［３８－２０７］（別売品）

●通常はふたを閉じた状態にしておいてください。
●メインリモコンの表示画面は４２℃を表示しています。



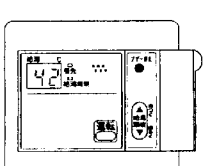
防湿型サブリモコン［３８－２０９］（別売品）

●浴室リモコンの表示画面は４２℃を表示しています。



■サブリモコン
［３８－２０８］（別売品）

台所、浴室以外の部屋から運転スイッチの「入」・「切」、給湯温度調節、ブザー停止ができます。
各部のはたらき、使用方法は、メインリモコン［３８－２０７］と同じ操作ですが、プログラム運転設定及び時計表示はできません。

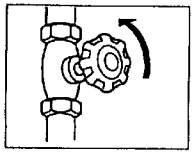


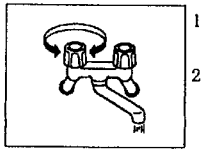
はじめて使うとき

次の確認と準備が必要です

機器および機器周辺の点検・確認を行ってください。（２３ページ）

1 水が出ることを確かめる
給水元栓・給湯栓を開ける





1．水が出ることを確かめる
2．給湯栓を閉じる

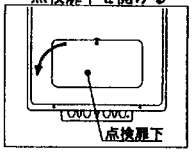
2 電源の確認

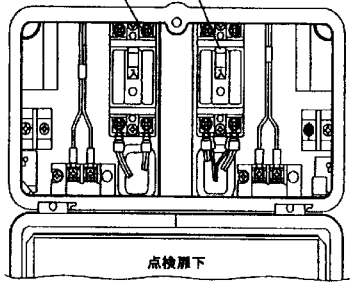
電源ユニット（３８－２３１）［別売品］が増設されている場合

漏電ブレーカーが「入」になっていること

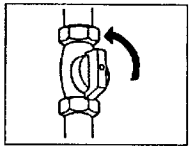
マルチコントローラーにＡＣ１００Ｖ電源が供給されていることを確認してください。

点検扉下を開ける





3 ガスの開栓を確かめる
熱源機用のガス栓を全開にする

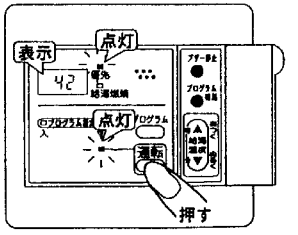


4 運転「入」状態にします。

メインリモコンの場合

運転スイッチを押す

メインリモコン［３８－２０７］

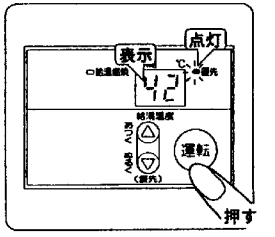


時刻表示から、給湯温度表示に変わります。
運転ランプが点灯します。

浴室リモコン・サブリモコンの場合

運転スイッチを押す

防温型サブリモコン［３８－２０９］



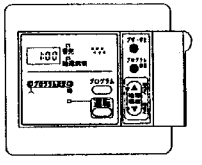
給湯温度が表示されます。

※循環システムの場合、運転「入」で循環回路内の循環ポンプが運転を始め、回路内の水温がリモコンの設定温度になるまで熱源機が燃焼動作を行います。
※循環システムの場合、運転「入」でカラン等で実際にお湯を使っていないときでも熱源機が燃焼したり、循環ポンプがＯＮ－ＯＦＦしたりします。
これは循環回路内の湯温を定められた温度に保つための動作で、異常ではありません。

メインリモコン［３８－２０７］（別売品）を取り付けている場合

現在時刻の合わせかた

（「運転」スイッチの「入」・「切」に関係なく操作できます。）

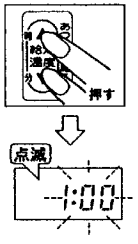


工場出荷時は、現在時刻1:00に設定しています。

お願い

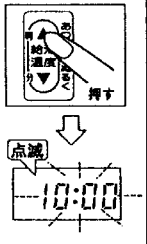
・設定した現在時刻は運転スイッチを「切」にしても記憶されています。ただし、停電または電源プラグを抜いてから50分以上たったときは1:00に切り替わります。
再度設定してください。

①時／分スイッチを同時に押す。



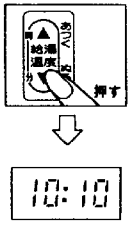
・現在時刻が点滅します。

②時スイッチを押して時の位を合わせる。



・時間の表示は２４時間表示です。
(0:00~23:59)
(例)10:10に設定

③分スイッチを押して分の位を合わせる。

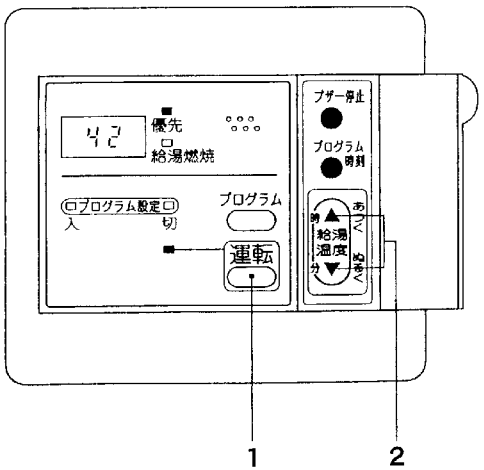


・時刻合わせ後約１０秒で時刻表示が点滅から点灯にかわり、設定終了となります。

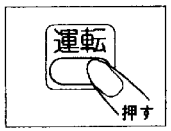
●スイッチを押し続けると連続的に数字がかわります。

メインリモコンで使う（別売品）

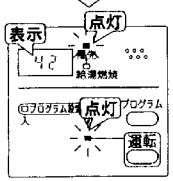
お湯を使うとき



1 運転スイッチを「入」にする



運転スイッチを押す



・給湯温度を表示します。
・運転ランプおよび優先ランプが点灯します。

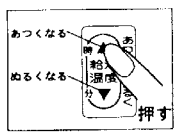
※サブリモコン（３８－２０８）の使用方法は、メインリモコン（３８－２０７）と同様です。ただし、プログラム設定および時計表示はできません。

ご注意

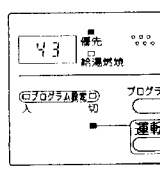
・設定した温度は、運転スイッチを「切」にしても記憶されています。
・お湯を使うときは、給湯栓を十分開けてお使いください。
・台所や浴室などで同時使用しますと、お湯の量や温度が変化することがあるのでご注意ください。

※優先ランプが消灯していると給湯温度を変更することはできません。
１７ページのメインリモコンと防湿型サブリモコンセットで使う場合をご覧ください。

2 お湯の温度を設定する

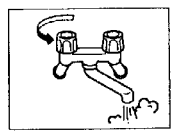


あつく・ぬるくスイッチを押す

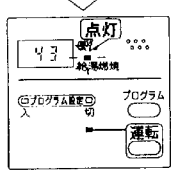


・給湯温度が変わります。

3 お湯を出す

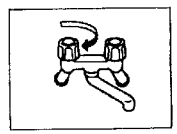


給湯温度を確認し、給湯栓を開ける

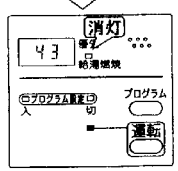


・給湯燃焼ランプが点灯します。

4 お湯を止める



給湯栓を閉じる



・給湯燃焼ランプが消灯します。

■次にお使いになるときは
（お湯の温度を変えない場合）
３、４の操作で使えます。

給湯温度設定　次のいずれかの温度に設定できます。（目安の温度）
お使いになる温度に設定してください

標準 ➡ 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 50 55 60 70 75 ℃

高温対応 ➡ 37 38 39 40 41 42 43 44 45 50 55 60 65 70 75 80 ℃

食器洗いなど　シャワー、給湯など　混合水栓で使うときやおふろへのあついたし湯など

工場出荷時の給湯温度の設定は標準となっています。（工場出荷時の給湯温度は４２℃です。）
※給湯温度の高温対応の設定は設置工事時に行います。設定は施工業者へ確認してください。

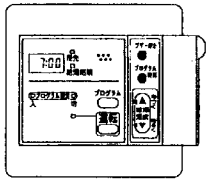
⚠警告

・シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯が出てやけどしたり、冷水が出てビックリすることがあります。
・シャワーを使う場合は、最初にあついお湯が出ることがあります。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
・お湯と水の量の調節やリモコンでの温度設定を確かめてから使う。
・お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、給水圧が下がったとき、あるいは万一、機器の故障の際には一瞬あついお湯が出ることがあります。やけど防止のために出始めのお湯は体にかけない。また、給湯使用時は出湯管（蛇口）があつくなりますのでやけどに注意してください。

一口メモ

・給湯栓から出るお湯の温度は、配管の長さや気温などにより必ずしも表示と一致しません。
目安としてお使いください。
※給湯温度の高温対応の設定は、設置工事時に行います。設定は施工業者へ確認してください。

プログラム運転



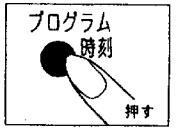
プログラム運転について

・プログラム運転は、毎日決まった時間に自動で運転の「入」・「切」ができる便利な機能です。

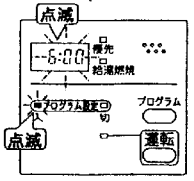
〈メインリモコンのプログラム時刻の合わせかた〉

・メインリモコンの現在時刻が合っているか確認します。現在時刻が合っていない場合は合わせてください。
・プログラム運転をする前にプログラム時刻を合わせます。
・「運転」スイッチの「入」・「切」に関係なくプログラム時刻をセットできます。
・時刻は２４時間表示です。（0:00～23:59）

1 プログラム時刻「入」を設定する



プログラム時刻スイッチを押す



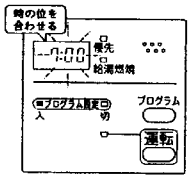
・入の時刻が点滅します。（工場出荷時は、6:00に設定しています。）
・プログラム入ランプが点滅します。

2 「入」の時刻を調節する

（例）7:30に設定

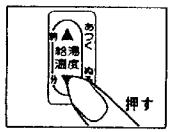
①

時スイッチを押す

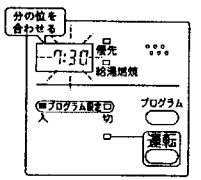


・時の位が変わります。

②



分スイッチを押す



・分の位が変わります。

●スイッチを押し続けると連続的に数字がかわります。

一口メモ

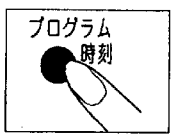
・セットしたプログラム時刻は、記憶されていますので使用する時刻が決まっているときはプログラム時刻を毎日セットする必要はありません。

プログラム時刻スイッチについて

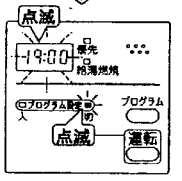
・プログラム時刻スイッチを１回押すごとに右図のように変化します。

押 → プログラム時刻" 入" 表示の点滅(入の時刻合わせ)
押 → プログラム時刻" 切" 表示の点滅(切の時刻合わせ)
押 → 画面表示が現在時刻に戻ります

3 プログラム時刻「切」を設定する



プログラム時刻スイッチを押す

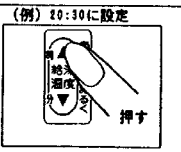


・切の時刻が点滅します。（工場出荷時は、19:00に設定しています。）
・プログラム入ランプが消灯し、プログラム切ランプが点滅します。

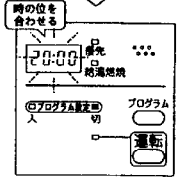
4 「切」の時刻を調節する

（例）20:30に設定

①

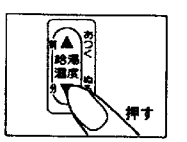


時スイッチを押す

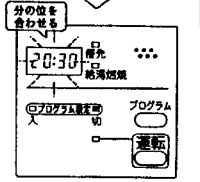


・時の位が変わります。

②

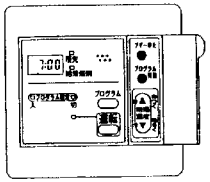


分スイッチを押す



・分の位が変わります。
・約１０秒後、画面表示が現在時刻に戻り、プログラム切ランプが消灯します。

●スイッチを押し続けると連続的に数字がかわります。

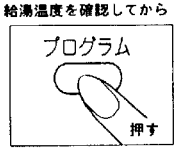


〈プログラム運転のしかた〉

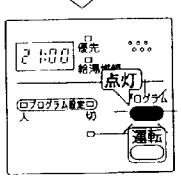
・メインリモコンの現在時刻・プログラム時刻を確認してください。
プログラム時刻の確認は、プログラム時刻スイッチのみを押して行ってください。１回押すごとに順次表示します。
・プログラム時刻の変更は＜プログラム時刻の合わせかた＞を参考にしてください。

1 プログラム運転をする

給湯温度を確認してから



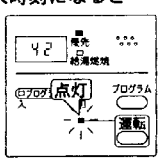
プログラムスイッチを押す



・プログラムスイッチが点灯します。
プログラム運転がセットされた状態になります。

2 「入」および「切」の時刻になると

①入時刻になると

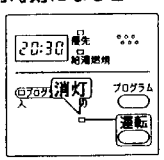


・運転が「入」になり、運転ランプが点灯します。表示部が給湯温度表示になります。
（メインリモコンに優先がある場合）

お湯をだす

・お湯の温度を変更する場合は１０ページ参照。
・優先がないときは優先を移してから温度を設定してください。（１７ページ参照）

②切時刻になると



・運転が「切」になり、運転ランプが消灯します。
表示部が現在時刻表示になります。

ご注意

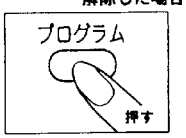
・プログラム運転中（プログラムスイッチ点灯中）でも、運転ランプ（メインリモコン）が消灯しているときは、給湯栓を開けてもお湯は出ません。給湯を使用する場合は、運転スイッチを「入」にしてから使用してください。

一口メモ

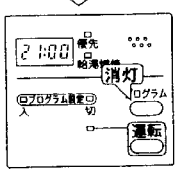
・セットしたプログラム時刻は、記憶されていますので使用する時刻が決まっている時はプログラム時刻を毎日セットする必要はありません。

プログラム運転を解除する

①運転の停止中に解除した場合

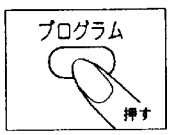


プログラムスイッチを押す

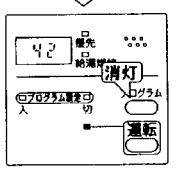


・プログラムスイッチが消灯し、プログラム運転は解除されます。

②運転中に解除した場合



プログラムスイッチを押す



・プログラムスイッチが消灯し、プログラム運転は解除されます。運転ランプは点灯したままです。

プログラム運転をセットした後（プログラムスイッチ点灯中）運転を停止するには

運転スイッチを押す

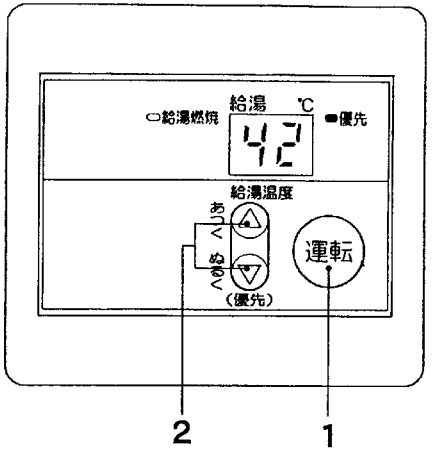
・押すと運転動作が変わり（運転→停止、停止→運転）もう一度押すともとに戻ります。
運転中は運転ランプが点灯し、停止中は、消灯します。
・プログラム運転の設定は解除されません。（プログラムスイッチは点灯したままです。）

ご注意

・プログラム運転をセットした後、停電や電源プラグを抜いたときは、セットが解除されます。
電源復帰後、プログラムスイッチを押してセットしなおしてください。
・市販の週間プログラムタイマーを接続してプログラム運転を行っている場合はメインリモコンでのプログラム運転はできません。

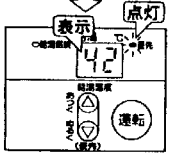
防湿型サブリモコンで使う（別売品）

お湯を使うとき



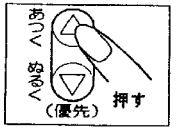
1 運転スイッチを「入」にする

運転スイッチを押す

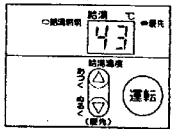


・給湯温度が表示し、優先ランプが点灯します。

2 給湯の温度を設定する

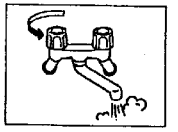


ぬるく・あつくスイッチを押す

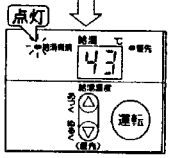


・給湯温度が変わります。

3 お湯を出す

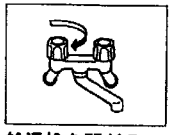


給湯温度を確認し、給湯栓を開ける

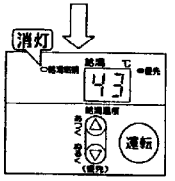


・給湯燃焼ランプが点灯します。

4 お湯を止める



給湯栓を閉じる



・給湯燃焼ランプが消灯します。

■次にお使いになるときは（お湯の温度を変えない場合）3、4の操作で使えます。

給湯温度設定 次のいずれかの温度に設定できます。（目安の温度）
お使いになる温度に設定してください

標準 ➡ 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 50 55 60 70 75 ℃

高温対応 ➡ 37 38 39 40 41 42 43 44 45 50 55 60 65 70 75 80 ℃

食器洗いなど　シャワー、給湯など　混合水栓で使うときやおふろへのあついたし湯など

工場出荷時の給湯温度の設定は標準となっています。（工場出荷時の給湯温度は４２℃です。）
※給湯温度の高温対応の設定はメインリモコン側で設置工事時に行います。設定は施工業者に確認してください。

ご注意

・設定した温度は、運転スイッチを「切」にしても記憶されています。
・お湯を使うときは、給湯栓を十分開けてお使いください。
・浴室や台所などで同時使用しますと、お湯の量や温度が変化することがあるのでご注意ください。

⚠警告

・シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯が出てやけどしたり、冷水が出てビックリすることがあります。
・シャワーを使う場合は、最初にあついお湯が出ることがあります。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
・お湯と水の量の調節やリモコンでの温度設定を確かめてから使う。
・お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、給水圧が下がったとき、あるいは万一、機器の故障の際には一瞬あついお湯が出ることがあります。やけど防止のために出始めのお湯は体にかけない。また、給湯使用時は出湯管（蛇口）があつくなりますのでやけどに注意してください。

一口メモ

・給湯栓から出るお湯の温度は、配管の長さや気温などにより必ずしも表示と一致しません。目安としてお使いください。
・サーモスタット付混合水栓がついている場合は、リモコンの給湯温度は５０、５５℃に設定してください。たとえば約４０℃のシャワーを浴びたいときは、サーモスタット付混合水栓で約４０℃（適温）にします。
・給湯温度設定の高温対応は、メインリモコンを取付けている場合に設定できます。

メインリモコンと防湿型サブリモコン セットで使う場合
（サブリモコン）

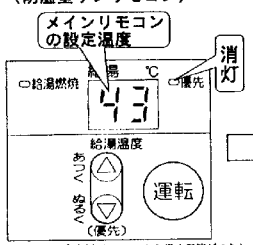
■優先について・・・シャワーを安全にお使いいただくために（やけど注意）

・シャワー使用中に他のリモコンでお湯の温度を変えるとやけどをするおそれがあります。
温度が調節できるリモコンはどちらか1つに限ることを優先といいます。
・優先は、優先ランプが点灯しているリモコンにあります。
シャワー・給湯を使うときは優先があることを確かめてからお使いください。

メインリモコン、防湿型サブリモコンの操作は9～16ページをお読みください。

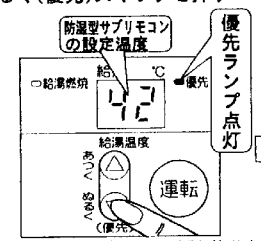
優先をメインリモコンから防湿型サブリモコンに切り替える

1．優先ランプの点灯を確認
（防湿型サブリモコン）



・優先ランプが消灯しているから温度調節ができない。

2．優先を移す
ぬるく(優先)スイッチを押す



・現在の防湿型サブリモコンの設定温度が表示します。
・優先ランプが点灯すると給湯温度の調節ができます。

お湯の温度調節してシャワーを使う

優先を防湿型サブリモコンからメインリモコンへ切り替える

1．メインリモコンの運転スイッチを押して一度、運転「切」にする
運転ランプが消灯し、給湯温度表示が現在時刻表示にかわります。

2．再度運転スイッチを押して運転「入」にする
優先ランプが点灯し、給湯温度が表示されます。

注）この方法で優先を切り替えるときは他の場所で使われていないことを確認してから行ってください。

⚠警告

・浴室でシャワー・給湯を使っているときは、メインリモコンで運転スイッチの「入」・「切」を行わない。優先がメインリモコンに移り、あついお湯が出る場合があります。
・メインリモコンに優先があり、台所等で給湯を使用しているときには、防湿型サブリモコンのぬるく（優先）スイッチを押さない。押すと防湿型サブリモコンに優先が移り、防湿型サブリモコンで設定されたお湯が出てきます。設定温度によっては、やけどするおそれがあります。

ご注意

・優先のないリモコンの運転スイッチを「切」にして、再度「入」にすると「入」にしたリモコンに優先が移ります。
メインリモコンから防湿型サブリモコンへの優先切り替えは防湿型サブリモコンのぬるく（優先）スイッチで操作することをおすすめします。

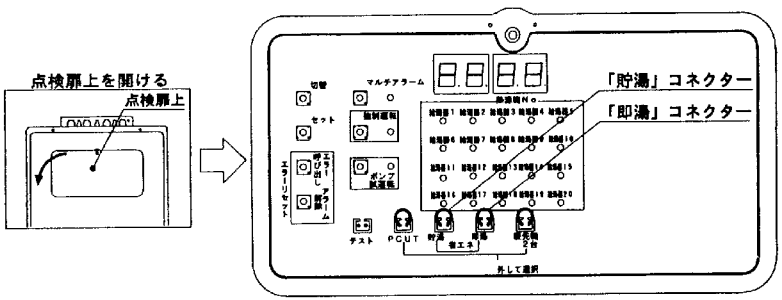
一口メモ

・サブリモコンを取付けている場合、優先がメインリモコンにあるときはサブリモコンにも優先があります。サブリモコンとメインリモコンは連動しています。
・サブリモコンの「運転」スイッチを「入」にするとサブリモコンとメインリモコンに優先ランプが点灯し、どちらのリモコンでも給湯温度を設定できます。給湯温度は設定したリモコン側の温度になります。

循環回路制御について

循環回路制御について

マルチシステムで温水配管を循環式にした場合、マルチコントローラー本体のコネクターを抜くことにより、下記のような制御が行えます。



1	「貯湯」、「即湯」コネクター をどちらも抜かない **通常ポンプ循環**	運転スイッチ「入」で循環ポンプ「ON」となり、回路内の湯水を常時循環させ、湯温をリモコンの設定温度に保ちます。
2	「即湯」コネクターを抜く **即湯循環制御**	運転スイッチ「入」で回路内の湯温がリモコンの設定温度に近く、熱源機を燃焼させる必要のないときは循環ポンプを停止させ、燃焼が必要なときだけ循環ポンプを「ON」にします。 （循環ポンプは30分毎に約1分間「ON」となり、燃焼が必要か否かを判断します。外気温や施工条件により30分たたなくても「ON」になる場合があります。）
3	「貯湯」コネクターを抜く **貯湯循環制御**	運転スイッチ「入」で貯湯タンク内の湯温がリモコンの設定温度に近く、熱源機を燃焼させる必要のない場合、強制的に熱源機内の給湯弁をしぼり、循環流量を減らします。 （循環ポンプは「ON」のままです。）
4	「即湯」、「貯湯」コネクター を両方抜く **即湯省エネ循環**	即湯循環制御と同様ですが、循環回路内の湯温を50℃とします。 （リモコンの設定温度が50℃以上のときのみ省エネに有効です）

故障かな？

お湯の出かた

こんな時？	故障ではありません
給湯栓を開いてもすぐお湯がでない	最初に使うときは、機器から給湯栓までの配管内の水が押し出されるまで少し時間がかかります。（即湯循環システムの場合を除く）
夏などぬるいお湯が出ない	給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。水温が高いときぬるいお湯を少量出そうとするとお湯の温度が高くなることがあります。
給湯栓を絞りすぎて水になった	給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。機器から出るお湯の量が１分間に約３．０ℓ以下になると消火するためです。
お湯が白く濁って見える	水の中の空気が分離して気泡となるためです。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違い無害なものです。

こんな時？	調べるところ・・・
あついお湯が出ない	□ 湯温調節は適切ですか？（10・16ページ） □ ガス栓が全開になっていますか？（7ページ）
ぬるいお湯が出ない	□ 湯温調節は適切ですか？（10・16ページ） □ 水フィルターが詰まっていませんか？（熱源機） □ 給湯栓が十分開いていますか？（熱源機） □ 給水元栓が全開になっていますか？（熱源機）
お湯が出ない（運転しない）	□ メインコントローラーに通電されていますか？（7ページ） □ 停電していませんか？ □ ガス栓が全開になっていますか？（熱源機） □ 給水元栓が全開になっていますか？（熱源機） □ 水フィルターが詰まっていませんか？（熱源機） □ 給湯栓が十分開いていますか？（熱源機） □ 断水していませんか？（熱源機） □ 凍結していませんか？（熱源機） □ 各リモコンの運転スイッチが「入」ですか？（9・15ページ）

それでもわからないときはアフターサービスをお申しつけください

機器本体・システム

こんな時？	故障ではありません
お湯を使っていないのに時々給湯機が燃焼する。 循環ポンプが止まったり動いたりする。	マルチシステムで循環回路を組んだ場合、循環回路内のお湯の保温のため、実際にお湯を使わなくても熱源機が燃焼することがあります。 また、循環のパターンにより、循環ポンプがＯＮ－ＯＦＦします。（18ページ） 外気温が低く機器内の凍結予防装置が働くと、循環ポンプがＯＮになります。（18ページ）

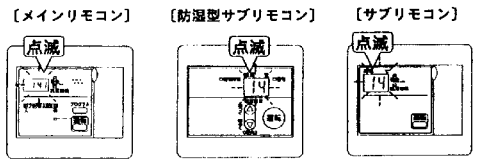
こんな時？	調べるところ・・・
燃焼ランプが点灯しない（運転しない）	□ マルチコントローラーに通電されていますか？（7ページ） □ 停電していませんか？（熱源機） □ ガス栓が全開になっていますか？（熱源機） □ 給水元栓が全開になっていますか？（熱源機） □ 水フィルターが詰まっていませんか？（熱源機） □ 給湯栓が十分開いていますか？（熱源機） □ 断水していませんか？（熱源機） □ 凍結していませんか？（熱源機） 上の８項目を確認してリセット操作をしてください。 〔リセット操作〕 運転スイッチを「切」にし、１秒後「入」にしてお使いください。
アラーム番号が表示されたとき	□ アラーム番号を確認してください。（21ページ）（熱源機）
運転中に機器から異常音が聞こえる	点検依頼してください。

それでもわからないときはアフターサービスをお申しつけください

リモコンのアラーム番号が出たとき

・不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し、自動的に運転を停止します。
・アラーム番号が表示点滅したときは、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
そのときは表示されているアラーム番号もお知らせください。

（例）図のようにアラーム番号が点滅してお知らせします。



アラーム一覧

アラーム番号	メインリモコン表示	アラーム内容
741	074（—）	メインリモコン通信異常
	741（—）	
751	—（75）	サブ・防湿型サブリモコン通信異常
761	**76（76）	熱源機通信異常
031	**03（03）	熱源機ガス種選択異常
681	068（68）	外部ファンモータOFF故障

（ ）内はサブリモコン、防湿型サブリモコンの表示

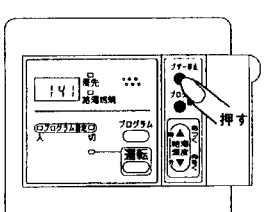
注　1）＊＊は熱源機番号
　　2）上記はマルチコントローラー故障時のアラーム番号です。上記以外の番号が表示された場合熱源機の故障が考えられますので、熱源機に付属の取扱説明書の「アラーム一覧」をご覧の上確認してください。

アラームリセット方法

・「運転」スイッチを一度「切」にし、1秒後再度「運転」スイッチを「入」にする。

アラームブザーの止めかた

・不具合が生じたとき、アラーム番号を表示点滅させると同時にアラームブザーが鳴ります。
・アラームブザーが鳴ったときには、メインリモコンのふたを開け、「ブザー停止」スイッチを押してください。
■アラームブザーを強制的に鳴らなくするにはアラームが発生していないとき「ブザー停止」スイッチを連続5秒押すと、「ピッ」と音が鳴り、アラームが発生してもブザーが鳴らなくなります。（アラーム番号の表示は行います。）
■再度アラームブザーを鳴るようにするにはアラームが発生していないとき「ブザー停止」スイッチを再度連続5秒押すと「ピー」と音が鳴り、アラーム発生時にブザーが鳴るようになります。



こんな場合には安全装置が働きます

・電気回路に漏電が生じた場合に電気を停止します。……漏電安全装置

凍結による破損予防

熱源機や配管が凍結すると、給湯ができないばかりでなく、水漏れの原因となります。次のいずれかの方法により凍結による破損を予防してください。

・通常の寒さのとき（外気温が−15℃〜0℃）は凍結予防装置による方法
・異常寒波のとき（外気温が−15℃以下）は通水による方法
・長期不在のときは熱源機内の水を抜く方法

通常の寒さのとき（外気温が−15℃〜0℃）　凍結予防装置による方法

・熱源機には、気温が下がってくると自動的に熱源機内を保温する凍結予防ヒーターがついています。通常は熱源機に通電されている状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。
・凍結予防装置は運転スイッチが「入」・「切」に関係なく作動します。くわしくは熱源機に付属の取扱説明書をご覧ください。
・循環回路を組んでいる場合、気温が下がってくると自動的に循環ポンプをONにして循環回路内を凍結から保護するようになっています。（回路内の水圧が上がればポンプは自動的に停止します。）

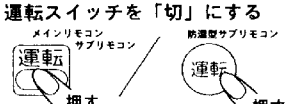
ご注意

・電源プラグがコンセントから抜かれていると作動しませんのでご注意ください。
・この方法では、熱源機内の凍結を予防できても配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材や電気ヒーターを巻くなどの措置をしてください。
・次の朝、お使いになるときは給湯栓を開けて、水が出ることを確認してから運転スイッチを「入」にしてください。

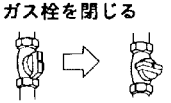
異常寒波のとき　（外気温が−15℃以下）　通水による方法

熱源機だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓などの凍結予防もできます。

1 運転スイッチを「切」にする

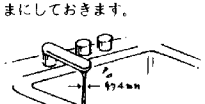


2 ガス栓を閉じる



3 給湯栓から水を流す

1分間に約400cc…太さ約4㎜を流したままにしておきます。



4 流れる量を確認する

流量が不安定になることがありますので約30分後に再度流れる量を確認してください。

ご注意

・周囲の人に凍結予防のため水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。

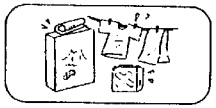
長期不在のとき　熱源機内の水を抜く方法

・長期不在等でマルチコントローラーの通電を「切」にするときには、熱源機の水抜きを行い、凍結予防を行ってください。
・熱源機の水抜き方法は、熱源機に付属の取扱説明書をご覧ください。

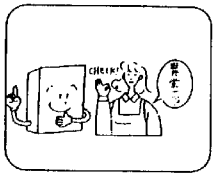
点検とお手入れ

安全にお使いいただけるように、点検と手入れは定期的に行いましょう。

点　検



□ 熱源機の周りや排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？



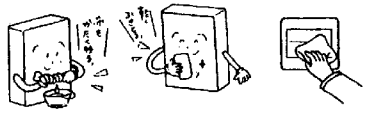
□ 運転中に熱源機から異常（異常音、排気に不快な臭い、目にしみるなど）がありませんか？
□ 熱源機の外観に異常がありませんか？
□ 熱源機や配管よりガスの臭気がありませんか？
□ 熱源機や配管より水漏れはありませんか？
水漏れは熱源機の故障だけでなく、お隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
□ 排気口が積雪や屋根から落ちた雪により閉塞されていませんか？
排気口が閉塞されていると熱源機が不完全燃焼することがあります。積雪時には排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気口を閉塞する恐れがある場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

お手入れ

フロントカバーを外したり、リモコンなどを分解したりしないでください。
お手入れの際、指先には十分注意してください。

分解禁止

機器本体及びリモコン　汚れは水をつけた布をかたく絞り、軽く拭きとってください。



・シンナー・ベンジンなどは使わないでください。変形する場合があります。
・リモコンの内部には電気部品が入っていますので、水をかけないでください。故障の原因となります。
・防滴型サブリモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

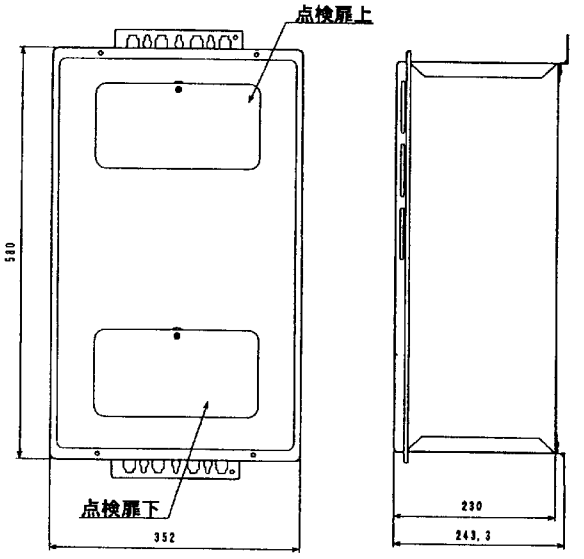
定期点検のおすすめ〈有料〉

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスにご相談ください。

寸法図

機器本体

（単位：mm）



仕様表

項目	内容	補足説明
品名	38－206	
型式名	TP－MC5	
外形寸法（mm）/質量（kg）	幅352×奥行230×高さ580　/10	
電源	AC100V（50/60Hz）	
出力端子	循環ポンプ用電磁開閉器用端子	運転ON時出力（AC100V, 0.5A）
	外部ファン用電磁開閉器用端子	燃焼時出力（AC100V, 0.5A）
	週間プログラムタイマー用出力	AC100V、0.5Aまで
	AC100V外部出力（2ケ所）	AC100V、0.5Aまで
入力端子	アラーム接点	アラーム発生時接点ON
	風圧スイッチ	
	週間プログラムタイマー	
熱源機との接続	通信コード用端子（4ケ所）	1カ所6台まで
	電源端子（2ケ所）	1カ所6［3］台まで
	リモコン接続端子（2ケ所）	
接続可能台数	32号　最大20台まで 55号　最大10台まで	10[5]台より多く設置する場合は別売電源ユニット（38－231）が必要
安全装置	漏電安全装置（漏電ブレーカー）	30A
付属品	取扱説明書、工事説明書、信号コード2m	
別売品	メインリモコン、サブリモコン、防滴型サブリモコン、電源ユニット	

［ ］は55号使用時

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

・１９～２１ページの「故障かな？」の項をご確認ください。それでも直らない場合、あるいは不明の場合には、ご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
・アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
（１）氏名・住所・電話番号・道順（付近の目印）
（２）品名　例）３８－２０６型
（右のようなラベルを機器の前面部に貼付けてあります）

（３）お買い上げ日（保証書をご覧ください。）
（４）故障または異常の内容（アラーム表示の状態など、できるだけ詳しく）
（５）訪問ご希望日

保証書について

・このマルチコントローラーには保証書がついています。
・保証書に記載のように、マルチコントローラーの故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
・保証書を紛失されますと無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
・保証期間経過後の故障修理については、お買上の販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

補修用性能部品の最低保有期間について

・修理によって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
・この製品の補修用性能部品（機能維持のための必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後７年です。
ただし、最低保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

転居または機器を移設されるとき

・ガスの種類には都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

メ モ